京城日報

●ルー氏の立候補辭退

ヒユース氏當選せば如何

進步黨大統領候補者に推薦せられたるルーズヴエルト氏は立候補を條件附にて辭退する旨打電し來りたるが同時に右辭退は暫く進步黨大會委員の手に保留し置きヒユース氏が大統領に當選せば果して米國の利益を增進し得るや否や十分考慮せんことを求めたり（市俄古電報）

●デ市米領事館に放火

米國政府は九日エルパソに在る米國政務官に訓電して米人の入墨を禁ぜしめたりデコランコ市民は八日排米示威運動を爲せるが暴徒は米領事館に放火し米國旗を凌辱せるが領事館は全部燒失せりデエアレス司令官がヴイラ將軍は此の問題に就き語つて曰く是れ市民の爲せるものにして官憲の關り知る所にあらず米人は米軍の墨國內に在る事が如何に墨國民を損害せしめつゝあるかを自覺して可なり余は是れより以前に此種の暴動の起らざりしを寧ろ奇怪と爲したるなり（桑港電報）

●墺軍デュブノを放棄す

羅馬來電に曰く墺軍はデュブノ（レムベルグの東北）を放棄せり是れ哥薩克騎兵が墺軍の後方聯絡線を切斷せる結果墺軍をして退却を餘儀無くせしめたるものにして露軍の得たる捕虜は六萬五千に達せり（倫敦電報）

●林大使一行

伊太利大使林權助男及び島津男一行は十二日午前五時四十分著車にて京城か釜山到著若松府尹其他の出迎へを受け直ちに關釜連絡船對馬丸に搭乘歸東の途に就けり（釜山特電）

●藤澤內務參政官

南鮮地方視察中なる內務參政官藤澤幾之助氏は佐々木道長官と共に來る十四日午後二時頭馬山より來釜し同夜の關釜連絡船にて歸東の筈なるが若松府尹佐々木縣議士等の發起にて同日午後六時より鐵道ホテルに於て晚餐會を開くべしと（釜山特電）

▲大邱へ 藤澤內務參政官は十二日午後零時卅分大田發大邱に向ふ（大田特電）

●公醫へ訓示

豫て開催中なりし公醫講習會は十日終了せるより芳賀總督府醫院長は十二日午前十一時受講者四十名を率ゐて總督府に至り第二會議室に於て寺內總督の訓示を受けたり

●總督茶菓饗應

寺內總督は十二日正午より公醫講習會に出席せる公醫四十名に對し警務總監部將校集會所に於て茶菓を饗せり芳賀總督府醫院長以下講師、關係者一同も參列したり

●總長訓示と招宴

古海警務總長は十二日午前十時警務總監部に於て全道公醫講習會出席公醫三十九名に對して一場の訓示を爲し尚午後七時より一同を朝鮮ホテルに招待して晚餐會を開く

●荒井長官饗宴

荒井度支部長官は十二日午後四時より各道第二部長並に各地農工銀行支配人を官邸に招待、饗宴を張れるが度支部內各課長高等官等も列席せり

●農銀會同（第一日）

各地農工銀行支配人會同第一日は十二日午前九時より總督府第二會議室に開催、各支配人は勿論總督府よりは寺內總督、山縣政務總監以下、關係各部長官、局長、課長等出席し荒井長官統裁の下に直ちに日程に入り午前午後とも諮問事項の答申ありて三時散會したり

十二日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵送料前金）三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金[illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

●農銀會同日程

漢湖農工銀行をはじめ平安、慶尚、全州、光州、成鏡各農工銀行支配人會同は十二日より十四日まで三日間總督府第二會議室に開催さるゝこととなれり其日程左の如し

第一日午前 諮問事項答申 午後 同上
第二日午前 諮問事項答申 午後 事務打合
第三日午前 訓示、指示 午後 事務打合

而して開會時間は毎日午前九時閉會時間は午後三時にて議場は荒井度支部長官之を統裁す

●金融組合會同

總督府にては各地方金融組合理事五十名を召集し、十五日より十七日まで三日間總督府第二會議室に於て地方金融組合理事會同を開催することとなれり、本會同は毎日午前九時に始め午後三時閉會とし荒井度支部長官統裁の筈なり、日程左の如し

第一日 午前 諮問事項答申 午後 同上
第二日 午前 諮問事項答申 午後 同上
第三日 午前 訓示、指示 午後 事務打合

●十九師團諸會議

第十九師團にては立花師團長北鮮地方より歸任せるに就き順次左の如き日取にて各會議開催の筈なりと

▲聯隊長會議 廿三日より四日間
▲高級副官會議 來月一日より三日迄
▲軍醫官會議 六、七日
▲副官會議 十一、十二、十三日

●秋季大演習

第十九師團管區にては十月初旬各隸屬部隊を綜合せずに平壤七十七、龍山七十八兩聯隊對抗演習を爲さしむる筈にて龍山騎砲中隊も加入すべく場所は大同江を中心として催さるべしと羅南七十三聯隊、咸興七十四聯隊は別箇に聯合して會寧附近にて對抗演習を爲す豫定なりと

●林大使退京

歸國の途次滯京せる駐伊大使林權助男一行は十一日午後七時五十分南大門驛發汽車にて退京せり、同驛には李完用伯其他舊知の朝鮮貴族總督府各部長官、局長、所屬官、署長、水越鮮銀理事、林東拓理事、民間有志等數十名の見送りありたり

●吉原總裁歸期

東上中の吉原東拓總裁は二宮秘書役を隨へ十二日東京出發歸鮮の途に就くべき旨或筋へ通知ありしが途中京都に立寄り一二泊の豫定なりと云へば歸京は十六日頃ならんと

●白國寡孤救濟

石塚、國分、持地の各夫人發起となり十七日午後二時より京城府廳裏なる白耳義領事館內薔薇滿開の庭園に於て白耳義寡婦孤兒の救濟會を開催に決せるが當日は來會者の爲め音樂隊並に篤志夫人の筑前琵琶あり內外各夫人招待に努むる由にて入場券は篤志夫人に配付す可しと

●重石經營前途

重石鑛は既報の如く六十パーセント以上の朝鮮產上品にして噸二千圓を割らんとする暴落を見更らに前途益々不味の豫想に付京城市中に於ける重石仲介者の買入れを手控へ若くは中止せるは勿論一方鮮人仲買人並に重石採掘者は殆んど現下の市價にて手放さゞる爲め双方睨み合ひの次第なるが右に付三井物產支店笠原氏の談を聞くに重石價格の前途は混沌として豫想し難し唯重石鑛が噸五六千圓の値を出す如きは非常の突飛にて斷じて常軌と見る可からず予等の見る所は六十パーセント位の上等重石にして一噸千圓內外に下落し而して其の經營に困難を感ずる如き鑛區は到底相當出費の上今日に於て採掘に著手するは危險なりと考へ居れりと云々と朝鮮に於ける重石熱は既に沈衰に傾きつゝある如し

●奉天省借款と鮮銀

年來の懸案解決す

奉天特電は奉天省官憲と朝鮮銀行との間に本月九日夜を以て借款契約成立の旨を報じたるが此借款交涉は今回始めて起りしものに非ずして既に四年前故市原總裁時代に於て二回交涉ありしも成立に至らず勝田總裁就任後本年三月新たに交涉あり將に成らむとして遂に不調に歸したるが今回成立したる第四回の交涉は五月下旬より彼我當事者の間に開始せられ過般三島理事の奉天に赴きたるも主として此れが折衝の爲めなるは言ふ迄もなく、茲に九日を以て協定條件に關する双方の步調一致し圓滿の間に契約成立調印の運びとなりたるなり此の借款に關しては未だ朝鮮銀行當事者は發表すべからずとし具體的の說明を避け居れるが本社の確聞するところにては今回の借款金額は一百萬圓（曩に百萬元とせしは圓の誤につき訂正す）にして數年前より奉天省官憲が兌換の基礎を維持し銀行の整理を爲すに必要を感じつゝあり資金を朝鮮銀行より供給したるものにして既電にも報せし如く額面百圓手取九十五圓、利率年六分五厘で擔保は奉天省の官營に係る電燈電話事業の財產全部及び建築地全部と之に附屬する設備及び建物にして、償還期限は二年後、即ち大正七年六月九日を以て全部償還せらるべく利子支拂は年二期なりと云ふ而して借款金額は總て朝鮮銀行券を以て交付せらるゝ事勿論なり

●東拓七回移民

募集中なる東洋拓殖會社第七回移民は第一種乃ち普通移民現在申込總計一百戶に達したるも第二種地主移民は未だ二三戶に過ぎずと

●東拓株好況

東拓株は五月末の總會後當然配當落ある可き筈なるに事業界好況の爲めか總會前と差なく昨今も六十二圓より三圓の間を往來しつゝあり

●浚渫船落札

元山築港工事に使用する土木局の浚渫船其他附屬品は數日前入札の結果同地澤井造船所に落札したりと

●寺西軍醫部長

駐箚軍々醫部長寺西軍醫監は視察の爲め十一日朝出發京畿道に向へり往復一週間の豫定なりと

●松永道長官視察

松永京畿道長官は十二日午後一時より東洞公普通學校及び女子高等普通學校等を視察したり

●人見課長渡歐旅程

總督府農務課長人見次郎氏が渡歐の命を被りたるは既記の如くなるが出發期は七月中旬にて多分稅關長矢野久三郎氏と同行す可く詳細の旅程は未だ確定せざるも往路は陸行英京に入り歐大陸を經て米國通過明年一月歸朝す可しと

仁川

▲給水料減額 仁川府廳にては府內道路撒水及び東公園に於ける夏期前後六箇月間の噴水に對する給水料は昨年十二月給水規則の改正に依り殆んど倍額となれるを以て從前通り一立方メートルに付金五錢に減額方其筋に申請中なりし處此程申請通り認可あり▲松永長官來仁期 松永京畿道長官は十三日仁川府內狀況視察の爲め來仁の豫定なりしも都合に依り一兩日延期の旨通知ありたり▲河野氏の寄附 河野竹之助氏は今回仁川公立高等女學校備品として中古裝束人形女官禮裝桐箱入一個價格五十圓を寄附したり

清津

▲景氣の好況 清津は五月節句を控へたると清會沿線鐵道工事の進捗するに伴ひ貨物の集散著しく增加し尚補助鐵道は前月來引續き多少の出廻りあり其他鱈明太等の水產物は依然頗る盛況を呈し市況稍回復の曙光を認むるに至り資金の移動頻繁となり農銀支店貸出高は卅萬圓餘にして前月に比し二萬圓を增加し月末殘高に於ては却て二萬圓減少し預金は受拂額百七十萬圓に上り前月よりは二萬圓を增加し金融繁忙裡に越月せり▲牛疫全然終熄 一時猖獗を極めたる咸北慶興郡雄基面白頭洞牛疫は道廳警務部協力して防疫に極力努せる結果五月二十日頃全然終熄するに至りしが四月中旬以來の發生牛疫は合計九十二頭に達せり而して同地は雄基羅春間の陸路運送通路に當りしを以て當時防疫上牛車の交通遮斷せられ國境貨物運輸界に打擊を蒙りつゝありしが牛疫終熄と共に交通遮斷解除せられしを以て運搬狀態に運送も亦た常態に復する▲豆滿沿岸警備電話 豆滿江沿岸警備電話線は昨年既設の江口より訓戎に至る迄の線路を更に訓戎より鍾城迄延長架設したるが本年度に於ては更に鍾城より會寧を經て茂山に至る約三十七里の間沿岸各憲兵分隊分遣所を連絡して架設する事となり既に元山郵便局より技師出張し來り實測中なれば近々架設工事に着手せらるべしと▲清津附近漁況 五月中清津近海の漁獲高は鰤漁の依然豐漁なりしに加へて珍らしくも鰮鯖等高價魚の漁獲盛なりし爲め清津魚市場水揚高は九萬九千六百五十四圓價格九千九百二十八圓に達し殆んど前例のなき多額に上り前月の六千三十四圓に比すれば三千七百餘圓前年同期の四千八百圓に比すれば倍額以上の增加なり今重要魚價を示せば鰤二千八百十六圓鰤二千三百二十六圓鰮一千四百四十圓其他鯖、鯛、明太、鰈、章魚等なりとす尙ほ北鮮三大漁の一なる鰤は五月末より非常の漁獲ありしが六月に入りて俄に其大群の近海に遊游を見るに至り五日迄の漁獲高六萬餘尾に達し爲に當初一尾二十錢位なりしもの暴落して二錢內外を唱ふるに至れり而して本年同漁は今日の豫想よりせば頗る豐漁なるべしと漁業家は大に意氣込み居れり

西湖津

▲公共棧橋 咸興の關門なる西湖津は奧地の開發に伴ひ貨客の吞吐頻繁なる現在の如き小規模の棧橋にては不便を感ずる事尠からざるが故に現在の棧橋を廢して巾二間延長三十間の公共棧橋を新たに設置すべく本年中に竣成の豫定にて目下道廳に於て計畫中也▲漁業近況 鱈ウレキ等少量の漁あるのみにて久しく不振の狀態を續けたる西湖津沿岸に於ける漁業は本月に入り鰤及び鯛の漁獲始まりたるを以て鮮人漁業者は勿論道經營の漁撈傳習所に於ては目下頻りに之れが漁獵準備を急ぎ居れり

清州

▲忠北隊署長會議 既報の如く忠北隊署長會議は去る五日より五日間巡査補教習所に於て每日午前八時より午後四時迄開催せるが其日程は第一日管內情況報告第二日諮問事項第三日指示及び注意事項並に訓示第四日午前實課午後擊劍大會開催第五日午前部外講話聽講午後見學及び事務打合をなせり▲長官招宴 柳忠北道長官は別項の隊署長會議に參列のため來清中なる各隊署長を六日午後七時より清州北一樓に招待宴を催したり▲關口檢事正來清 公州地方法院關口檢事正は目下開催中なる忠北隊署長會議に臨席のため七日來清の筈

大田

▲五月概況 米穀類は內地相場の不活潑なる關係上買氣進まず當用向き多少の出穀を見たるも捗々しき活動を見るに至らず貨物の如きも戰爭の影響を受け一般に高値なる爲め取引少なく只時節柄夏物の賣行きありたるも金融上に及ぼす影響は云ふに足らず唯林業の一般に盛んなる爲め苗木の賣行きのみは意外に良好なり尙旺陸軍官舍其他に多少の工事ある爲め月を越せば景氣を挽回するに至るべきも要するに一般の金融は緩漫なりしと云ふを免れ難しと然して漢湖銀行支店貸出現計は二萬八千九百十九圓四十四錢預金總計十四萬四千百五十三圓十五錢漢城銀行支店貸出總計二十五萬二千七百十六圓七十一錢預金總計七萬六千七百十八圓六十錢なり▲挿秧開始 懷德郡は麥作過半の刈入れを終りたるを以て既に挿秧を開始せる向きあり▲鷄卵賣買 內地鷄卵面白からざるに反し朝鮮一體に良成績を擧げたるを以て朝鮮產鷄卵買入れの爲め續々渡來し懷德郡附近にては近年になき高値を以て賣買せられ居れり▲內藤管理者 學校組合內藤管理者は事務打合せの爲め公州に出張中なりしが十一日歸田▲土地登記 大田地方法院支廳にては去る四日以來郡廳より土地登記の引繼を受け實施し居れるが既に其件數五百餘件を登錄し尙一日十四五通の受付けをなし廳員は之れが爲め忙殺せられ居れり▲東京大相撲 西の海大錦一行の東京相撲は當地に於いて興行すべき噂ありしが年寄淺香山中西等先乘りとして大邱より來田相談を纏め十一日群山に向け出發せり而して當地興行は二十六七日頃なるべしとの事にて市中の人氣頗る居れり

全州

▲全群支會合併 朝鮮農會も近年彌益す機運の催進に促され全北道內に併立せる兩支會を打て一丸となし之が統一を圖るべく道當局は豫て全州、群山の兩支會に向つて彼是斡旋の結果兩支會も其意を諒し去る九日全北公會堂に支會員の會同となり大久保一郎座長の下に改めて合併の議を諮り滿場一致之を迎へ會名を全北支會と名け規約を制定し役員の選擧を行ひ支會長に李珍鎬を推し副支會長に北尾榮太郎村永根の兩氏就任あり續て朝鮮農會本部より特に派遣されたる理事に依り副會長の祝辭代讀あり休憩後三原學藝委員は棉作に就きての題下に講演あり午後五時閉會せり▲輕鐵一日收入 全北輕鐵會社創立以來足掛け三年の歲月を閱みするも尙未だ創設時代を脫せず今後の奮鬪に俟つ所多きが中にも開業後一日間に於ける收入の最多なるは一昨年全北共進會開設の當時なりしが之に次ぐ一節句の當日にして下午雨天の爲め多少人出の影響を受けたるも德津池畔の遊客並に遊覽者の乘客四千百餘人有の盛況を來たし乘車賃總計四百二圓十錢を計上せりと▲農校開校記念 去る十日全州農業學校開校記念祝賀會を催し重立つ官民新聞記者を招き午後運動會を催し盛況を極めたり

三道橫斷記

（三良里より） 上田 獻心

▲二日午後三時四十分李巨里に下り漸く太白山脈を離れむとす四圍の風景開落を極むるに從うて途程々險人馬暢にして行路亦困難一行馬を下りて步行せしも一步を誤れば斷崖に轉落されむ內地人の通過の如き官吏を除きては一箇年中五指を屈するに足らずと謂ふ黃池里駐在所長に見送られ寒日淵の畔にて小川三真里派遣所長に出迎はる▲江原道！ 奇岩怪石大空を削り老松蓊鬱深山の幽邃を添へ渓澗流水千古の昔を語る所日光、箱根、耶馬溪、輕井澤、妙義の勝狀を一時に集めて賞美するを得しは蟬しと雖も、ピラミッドの如く見上ぐる程の頂上まで火田ありニ抱もおもん大木が無慘にも濫伐れ居るを見てはなかくに經濟的改善の急を思はざるを得ず就中甚しく程の大木が幹より切斷され小枝のみ採伐し他は其儘朽ちつゝある所あるを訝れば里人薪炭用に小枝のみ採りて幹は斷材の器を有せざるが爲め捨て置くのみと聞きては遉がに呆然たらざるを得ざりき▲慶北寧化、順興の慶北道界に陷れる江原道民の常食は燕麥、大豆、稷栗、草根、木皮の類多しと雖も、決して米食せざるに非ず、米は慶北乃城、順興地方より移出さる慶北にて八圓五十錢の白米が三長里に至れば十四圓の時價を有するは無理からぬ事なり二道の行政區域は太白、小白山脈を以て區劃せりと雖も經濟圈內には山河の區劃はあらざるなり▲太白山に登りし爲め三良里に着せしは八時四十五分所謂村民有志松明を手にし村外に余等一行を出迎へたり純然古代の風俗偲ばれて素朴なるも亦床かし

大邱

▲慶北畜產衛生狀況 慶北道にては獸疫豫防と獸疫注射し來り嚴重に檢査を行ひ疽及疽の如き根本的全滅を圖る可き由ものには病毒薰蒸たる牛舍床土を取り去り新鮮なる山土を補充せしめつゝあるが成績良好にして豫期の成果を擧げつゝあり而して其取去りたる床土は是を肥料に試みたるに一坪の牛舍一回約四百貫の良肥料を得たるを以て農家は喜んで是を實行する傾向あれば更に進むで農家一般に對し道廳は警察官憲と協力し春秋二期の清潔法施行と同時に年二回牛舍床土の交換をなさしむる事とし春季施行の分は全部終了を告げたり因に牛舍床土交換より得たる肥料は百貫八十錢と見積るも慶北道にては十三萬牛舍あるを以て一箇年八十萬圓の肥料を得たる

●北京稍不穩か

北京城內外稍形勢不穩となれりとの報あり（東京電報）

●復辟と南北態度

支那北方各將軍は概ね清朝復辟に傾き南方各省は之に反對しつゝあり新大總統黎元洪氏は全く[illegible]を挾するの形勢となり來れり（東京電報）

人事消息

▲城數馬氏（京城覆審法院長） 十二日より二週間の豫定にて馬州、原州、忠州、清州方面視察
▲櫻井憲兵大監 十二日朝安東方面より入京
▲山縣男爵 十二日朝南大門發[illegible]へ
▲安藤少佐（軍醫課） 同上大邱へ
▲村田實一郎氏（總務課長） 民籍の爲め十二日夜南大門驛汽車にて信州に歸省
▲今村邦典氏（事務官） 十二日[illegible]
▲中村辰五郎氏（中村組總支配人） 十二日夜入京天眞樓へ
▲塚田丑雄氏（土地調査局監査官） 入京中の處十二日發宮川へ向ふ
▲今井武人氏（慶尚農銀支配人） 十一日入京山本旅館へ
▲森脇一氏（光州農銀支配人） 同不知火旅館
▲岩崎虎次郎氏（全州農銀支配人） 同上
▲山本好讃氏（咸鏡農銀支配人） 同山本旅館
▲中西喜久男氏（平安農銀支配人） 十二日入京不知火旅館へ
▲朝倉外茂鐵氏（辯護士） [illegible]にて江華島へ出張中の處十一日夜歸京
▲德永海軍主計大監 十二日午前中國より入京新居旅館へ
▲[illegible]
▲吉田徹兵中尉（全州憲兵隊副官） 十二日歸任
▲高田大尉（羽黑憲兵分隊長） 十二日歸任
▲矢野哲次郎氏（通譯官） 浦項大邱間道に[illegible]郵便狀況視察中の同氏は十五日頃歸任の筈
▲池田常道氏（大阪每日支局詰） 門司支局より轉任し來り京ら地方部擔任

旅中吟

白居城

□
雲耶山耶炭燒く煙か五月雨るゝ
標杭の文字消ねて茫などしげる
登りつめて馬夫後れたり閑古鳥
袁氏の計を聞く
炎天に突如遠雷を聞く

□ 臺水
新音を疑ふ不足の汗躇り
茅屋根の遊茸きに桐の花高き
牛登れば鷓鴣咲く掘れ相な
蕨喰つて蕨の細れた女哉
側社松の花粉の的撈なる

せり之れに反し從來天津方面に遁竄し居たる革命黨員等は續々北京へ乘込み何となく不穩の狀況を呈せり天津駐在軍隊の一將校は頻りに白河の水深を測量し居たるが或は軍隊輸送の準備ならんかと傳ふるものあり天津は袁總統の訃報達するや各領事館を始め支那官衙及び重なる民家は半旗を揭げ弔意を表したりと（大連）

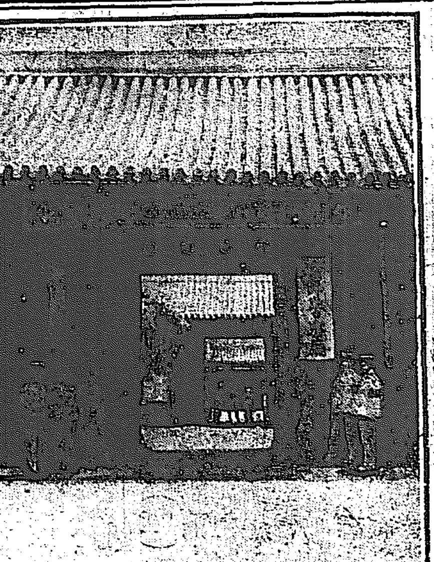
◎搜索の功遂に空し

旺洋丸救助に向ひし朝霧艦長談

旺洋丸遭難救助に向ひたる驅逐艦朝霧は十日鎭海に歸港せり同艦長の談に依れば同艦は八日現場著と共に鰲艦帆船鵲丸と協力し附近海上を隈なく巡邏、屍體捜査に從事し午後より旺洋丸の沈沒箇所を確むべく努力したるも遂に何等の得る所なし多分屍體は海底深く沈みて浮揚せざるか又は潮流の爲め何處へか押流されたるものなるべしと同船が沈沒せる場所は水深約十五尋乃至二十尋に及び船體は全々其姿を沒せる由にて引揚工事も効果あるか否かは充分調査の上ならでは判明せず損害高は船體時價三十五萬圓と無煙炭千七百五十噸價格一萬五百圓なりと（鎭海）

□大喪の北京

袁前總統の逝去に依り北京は遽かに寂寞の狀を現して居る、日本濟員の札を掲げたる第一舞臺も停演の札を掲げ各部の官吏は勿論下は巡捕に至る迄左腕に喪章を附しつゝあり、人山人海の東安市場すら各商舖閑く寂して居る



◎故袁總統の告別式

楊度慟哭悲哀の餘り卒倒す

八日懷仁堂における故袁總統告別式の模樣を聽くに靈柩は藍色の帳の內に安置せられ左側には袁克定外十五名の男子と幼き五名の孫、右側には女子十五、姬妾七名素白の喪服を纏ひて跪坐し各文武官數組に別れて禮拜せしが中には靈柩の前に跪き大聲痛哭するものあり、天津に避難中なりし帝政發起者楊度は七日急遽歸京し未だ大總統靈室に入らざるに慟哭悲哀の餘り卒倒し袁克定之を扶けて一室に導きたりと（北京）

◎船さへあらば儲け放題

一航海の收入が五十二萬圓

大阪商船布哇丸は五月二十一日タコマを出帆して八日午後十時橫濱に入港したるが船客三十五名の內上陸客十名あり栗村一等運轉手は船長に代りて語る『目下運賃の騰貴と亞米利加各港に於ける貨物の堆積は驚くべき程にて本船今回の一航海收入は五十二萬圓に上れり復航に於て棉花鐵類材木麥粉七千三百噸を積載したるが八十尺の松材一本の運賃は實に三百圓なり之れを十九本積たるが政府の命令航路たる我が社は決して不當の利益を收めたるに非ず牛乳も麻尼剌迄の運賃一噸に付き百八十圓なりき斯の如きに伴れ過日の如く太平洋沿岸に於ける勞働者の同盟罷業も起る次第にて今迄一時間七十七仙の賃銀を一弗に引上げんとしつゝあるが早晩實現さるべしと思はる又亞米利加より浦鹽行の荷物は非常に堆積しノーウオーク會社の如きはタコマに在る五船渠會社を借受け其處より冬船に積込みを爲し居れるが船渠は其本業を爲さず一の倉庫たるの感あり而して是等浦鹽行荷役は獨艦の跳梁を恐れ武裝警戒しつゝあり』と（東京）

◎官兵商店を襲ふ

昨今の北京―紳商等天津に遁る

九日正午天津より入港せる濟通丸歸客談に依れば八日朝北京城內に於て多數の官兵商店を襲ひて商品を掠奪し店主及び通行者に暴行を加へ負傷者を出したる事件あり袁總統逝去後北京城內は全く無警察の狀態となり何時如何なる變事勃發するやも測り難く商人は全く店を閉ぢ商賣を休み悔々たる有樣にて紳商は盛んに天津に避れ各列車共滿員にて大混雜を來し

◎豪遊中捕はる

大分縣大分市字永興生れ當時住所不定の下關[illegible]（二七）は去る五[illegible]ひと赤帽の手より騙取し之を釜山客町の古物屋に賣り飛ばし外一箇所に[illegible]て泥棒を働き東萊溫泉に赴き豪遊中[illegible]の竹田宮一（二）は去る大正元年十二月頃より全北全州大正町二丁目雜貨商門中伊助方に雇はれ眞面目に働き居たるより店主の信用を受け[illegible]及び石原某より家賃五圓を集金し主人には未收なりと欺き該金員を橫領費消したる[illegible]市生れ松田一夫（二）は昨年徵兵適齡にて受檢す可き筈の處數年前郷里長野を出立して以來行衞不明にて[illegible]も右一夫は辛く糊口を凌ぎ居りし歸國の旅費さへ無きより止なく[illegible]

◎八十尺の高空より噴水

▽昌德宮の防火試驗　昌德宮構內の防火機關に就ては豫て李王職にて水道消火栓の設備を施しありしが仁政殿並に大廟の防火設備に就ては京畿道警務部と協議し過般仁政殿には背面より防火用鐵製梯子を取付け之に水道鐵管を裝置して萬一に備へ尙屋上にも通水し得る樣設備を了したるを以て十二日午前九時より警務部消防係主任小熊警部出張し小宮李王職次官以下李王職員並に昌德宮警察署長以下署員一同立合の上通水實驗をなし屋上にて蒸汽喞筒を試用したるに八十餘尺の高空より噴水し、健に奏功するを認め成績頗る良好なりし因に當日李王殿下も內殿より御觀覽あらせられたりと

◎爆彈發見

奉天圖書館より　館內居住者就縛

奉天二十七師工兵隊は張將軍警護の爲め過般爆彈を投げたる城內圖書館內に宿營中なるが此の程館內整理の折り爆彈二個及び拳銃一挺を發見したるより當時館內に居住し居りし者を捕縛し嚴重訊問中なり（奉天）

◎掏摸は啞少年

警官手古摺る

本月四日午後十時半頃京城西小門町の中野某が太平町の夜店を見物し居れる際怪しき一人の鮮童が近づき同人の隙を窺ひ現金四圓五十錢在中の財布を掏り取りたるを被害者が氣付き逃走しつゝある件の鮮童を取押へたるも一向に口が利けず全く啞者なること判明し本町署に引渡したり然るに取調べに際し係官も大に手古摺りたるが別に現金五圓餘及び電車乘車券を所持し居り何れ贓品ならんも被害者判明せず尙ほ此者は以前にも南大門驛にて掏兒を働き居れる所を巡查に取押へられたることありと

□何故殉死したるか

故袁總統は子福者

―ツウプレス記者　布施知足氏談―

袁氏は元來男十五人女十四人合せて二十九人の子福者である、長子の克定氏は三十九歲で末女はやつと二歲にして男の子は克文克良克端克權と云ふやうに皆克の字を頭に付けてゐる、克定氏の夫人は

◇張百熙氏の令孃◇

で克端氏のは榮祿氏の令孃其外それ〲名家と緣組をして四人目までは既に夫人があり五番目から九番目までは許嫁が出來てゐる黎元洪氏の令孃を貰ふ事になつてゐるのは九番目の克玖氏である、女の子も大抵嫁いて例の宣統帝の妃になる筈になつてゐるのは九番目の令孃でこれはまだ取つて九歲の子供である、克定氏は嫡出と云ひ長子と云ひ跡目は當然是人が相續する筈ではあるが

◇惜い哉身體が弱◇

い次男の克文氏は文才は兄弟の中で群を拔いてゐる袁氏が光緖帝崩御の後攝政王に斥けられて河南衞輝の草廬に引込んでゐた時分詩客と唱和の詩を輯めた圭塘唱和集と云ふ詩集がある其編纂者は次男の克文氏で卷中には氏が乃父の作に次韻した詩も五六首這入つてゐる其程文學の才には富んでゐるが謂ば文人で政事の手腕は無い三男の克良氏は不肖の子だと云ふ評判がある四男の克端氏が一番

◇乃父の秘藏子で◇

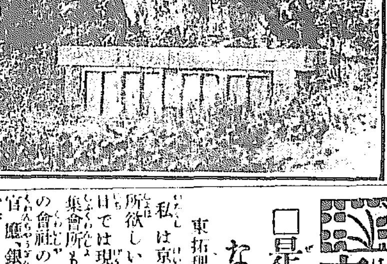
あつたしかし齡がまだ二十二で袁家を背負つて立つ力量が足りない、其れ等々に乃父の後を繼ぎたいのであつて母親達も各自分の子に家を取らしたいのだから內情は隨分混入つてゐたに相違ない、僕は袁世凱氏の死去は毒殺とは思はないが克定氏の危篤說には若しやと云ふ疑を抱いてゐるしかし實は危篤說が虛說で當

◇一寸腦貧血で卒倒◇

した位ではなからうか袁夫人の逝去は何れ毒を服しての事だらうが之は他人から迫られたのではなく自から覺悟して服したのであらう併し畢竟勢の不可なるを觀ての事で袁氏逝去後袁家の非運がどれ程であるかと云ふ事は想像に堪へない次第である

◎監獄へ逆戻り

大阪府北河內郡住道村生れ住所不定の窃盜前科四犯畑稔（二八）は昨年八月中京城にて窃盜をなし本町警察署の中林巡査と格鬪の末取押へられ八月十七日京城地方法院にて懲役一年の處分となり其後減刑の恩典に浴し去る五月十九日永登浦分監を出獄して京城に流れ込み朝鮮人宿に泊り込み居れる內又も窃盜を始め五月三十一日夜旭町一丁目の某家に侵入し衣類十九點（百十三圓餘）を窃取して各町の質屋に入質し一部は仁川に持ち行きて賣却し六月三日夜同地歌舞伎座にて芝居見物の歸途濱町某所有座蒲團一枚を盜み同地遊所にて豪遊中を探知したる本町署の刑事が乘り込みて逮捕し取調べの上又々監獄へ逆戻りとなりたり



總督邸の綠泉

□綠泉からラジユーム

△各所の藥水にも含む▽

□京城附近には古來朝鮮人が藥水と稱する萬病に効驗ある湧泉が各所に在る

□其の性質から、それが或はラジユームを含有して居るのではあるまいかと云ふ事は四五年以來屢々問題となつて居た

□愈々此の程より中央試驗所の今津技師が京城市中の藥水試驗を行ふ事となり總督官邸內の有名なる綠泉をも汲み來つて試驗して見た

□其結果はラジウムを含有し居る事を發見した猶他の各所に在る湧泉よりも同じくラジウムを含有し居る事を確め得たといふ事である

◎東京相撲乘込

釜山初日の取組

東京相撲西の海、大錦等の一行二百數十名は愈々來る十六日朝の高麗丸にて釜山に到著し當日は休養して鋭氣を養ひたる上翌十七日早朝より三日間同地龍頭山下の鐵道ホテル敷地に於て興行すべく木戶錢は一人三十錢平場五十錢にして棧敷は三方棧敷（四人詰）一桝四圓正面五圓なり初日（十七日）の取組左の如し

（兒島洋　綾鵆（常の花　駒泉
（朝日山　大明岩（國ケ岩　男島
（一道港　梅ヶ川（小常陸　源氏山（對馬洋
（龍ヶ嵜　成瀬山（紫雲龍　朝緑（綾川　九州山
（稍葉嶽　大の川（近江富士　釋迦嶽（栃木山　大錦
（宮城山　四海波（宇都宮　岩木山（西の海　兩國

◎妓生組合披露宴

新彰妓生組合にては今回第一種藝妓としての許可を受けたるその披露宴を十三日午後二時より明月館に開く

◎臨濟宗講學部長

臨濟宗大本山京都花園妙心寺講學部長日吉全識、同參事會長高森玄賓、同參事會員岐津宗柏の三師は今回宗務視察の爲め十二日午前八時五十分南大門著にて入京せるが當分長沙洞妙心寺に留錫の筈

◎明治神社へ獻金

京城黃金町四丁目百十二番地金商張基氏は今回率先して明治神社奉贊會に金二百圓の獻金を申出でたり尙金氏は昨秋の物產共進會にも金二百五十圓を寄附して特別會員に推されたる篤志家なり

京城に何が欲しいか

□是非一つ完全な俱樂部を

東拓理事　井上孝哉氏談

私は京城に完全した俱樂部が一箇所欲しいと思ふ、俱樂部と言へば今日では現に大正俱樂部もあれば、銀行集會所もある、その他教育俱樂部だの會社の俱樂部など算へてくれば各官廳、銀行會社にしてその所屬の俱樂部を有つてゐる所は非常に多くある、少し多くあり過ぎはしまいかと思はれる程ある、それが

▽何れも小規模の△

のものばかりである、吾々が鳥渡出掛けて行つても其處には人が居なかつたり又は多過ぎたりして困る事がある、そこで私共が常に設けて欲しいと思つてゐるのは大規模の俱樂部、卽ち官民各階級を通じて誰れでも行く事の出來るもので、其處には現在の各俱樂部が有する

▽諸機關の外に△

大弓の如き室外で出來るロンテンス、其の他の遊戯運動具などの備へもあり、談話室もあれば讀書室もあつて食事も出來るといふ程のものが必要ではないかと思ふ。單に遊ぶといふ以外に此の種の俱樂部に行けば常に多數の人が集合してゐて平素會ふ機會の無い人と

▽會つて話が出來△

るといふ樣な工合で洵に好都合だ、更に之れを公會堂の如きものと合し延いてはその中にホテルも置き簡易な圖書館も設けるやうにしたならば廣い意味の日鮮人共通の社交機關になりはしないだらうかと思はれる、京城位の程度の都市には小規模の俱樂部が多數にあるよりは前に述べた樣な性質のもの〻設置が望ましいのである

投書

▲偉人の銅像がほしい

京城　草笛生

京城に何が欲しい？此問題は興味多く又社會的のものであると吾輩は最初から頗る注意深い眼を以て眺めて居つたが投票の結果は甚だ意外の感を起させた、吾輩は思ふ今の京城に欲しいものは形式の整美も素よりだし、都市生活の內容を豊富にする處の施設も又緊急である、併し我等萬の少年子弟教育の爲めに敬虔と偉大とを感得せしむるの機會が京城に於ては殆ど絕無である、之を補はんが爲めに吾輩は京城に偉人の銅像が欲しいと大呼する、神功皇后でも豊太閤でも乃至伊藤公でも宜い一大銅像の建立は京城として大に必要ではあるまいか

讀者の聲

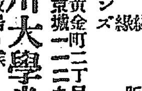
郵便局の前と京城日報社の前に鳥渡した植込でもして噴水をしてほしい（通行生）▲鮮人街の日本人中には名札を出してない家があるから郵便物の配達に困難する事が多い是非町名番地と名札は出して置て貰ひたい（配達夫）▲出來ない注文は駄目だと云ふ人もあるけれど唯出來ないで濟して居れば何が出來る出來ない事はないせぬから出來ないのだらう（突進生）▲劇場を建る時に一寸意を用ひて置けば公會堂の代用も爲し居ると思ふ釘本氏の奮起を祈る（同感散史）▲小生は松寺檢事正と說を同じく致候一日も早く富豪貴族等の寄附にて實現を希望致し候訓練院の如きものを拂下げては如何のものにや（府民代表生）

天氣　曇但少雨　▲六月十三日

闘球盤

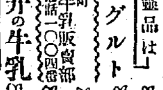
夏の日永に紳士も婦人も高尙で面白い大流行の快活の遊戯はコレ
發賣元　東京　大一商店
朝鮮代理店　京城本町二丁目　シノサキ商店　電話三〇〇番
定價表は御申越次第贈呈す

各眼科病院醫科指定眼鏡調製



金銀赤金各種　銅張　レンズ　線線線線　製作販賣
眼鏡專門　宮川大學堂　京城黃金町二丁目　振替京城一二二九
▲定價表を發行致居り候　▲眼鏡一式に關する御照會を續々歡迎す

開業十週年祝　支那料理始め
宴會一圓酒付御滿足を與ふ　三券番藝妓招聘御隨意
京城大和町三　電話七三五番　梅の家

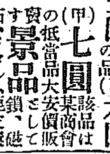


長壽の靈品は　ヨーグルト
京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇〇四番
滋養と健康の母は　荒井の牛乳

肺病　肋膜炎　氣管支
には輕症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券三錢相添照會あれ治療法豫防法を供に詳報す
名古屋市西區本町三丁目　鈴木盛角堂

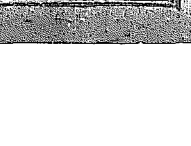
大募集
官衙の證明援助ある五割益の事業を縣郡に特約し自轉車を給す直に申込あれ
東京市銀座南紺屋町　習字獎勵會

質流品　正銀側時計殆ど半額



流品は瑞西國會社特製正銀側機械堅牢優良實石入三拾年責任保證付實價五圓以上の品
貳圓廿錢　同品のアンクル五拾錢增
二圓五拾錢　四圓三十錢　五圓　最上の品（乙）六圓
（甲）七圓　該品は某商會の抵當品大安價にて販賣す景品として鎖、メタル、鹿皮、磁石の五品を小包にて進呈す
御註文次第代金引換　料四拾錢增　券代用一割增　又は返金す　振替大阪一二六一九　大阪松屋町地藏阪南入
合資會社　日野時計店

樋屋奇應丸　小兒良藥



專治　소아의실신간질　급발성열증　等に奇効神の如し　到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

レンガーミシン會社　大邱支部
分店所在（大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州）

父杉江嘉七儀豫て病氣中之處療養不相叶昨十一日午前十時四十分死去致候間此段生前辱知諸君に謹告候也
追而葬儀は明十三日午後四時若草町曹洞宗本山に於て執行可致候
大正五年六月十一日
男　杉江莊一
弟　杉江喜一
親族　杉江嘉左衞門
　　　杉江嘉三郎
總代　一鬼房次郎
　　　內山彥一
友人　岩田千春
總代　木谷安吉

葬儀請負　株式會社　京城葬儀社
旭町二丁目（京城府廳前）　電一五六七番
二川寫眞　中河原重吉　井上芳太郞
靈柩馬車の設備有之候　電話九五七番

供花御寄贈品一式　京城本町二丁目（寄附館）
朝鮮葬儀社　電話五六二番

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切
親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目　大葬社　電話一〇五六番

●手水は先づ心頭を洗へ

□鷲山宗甫氏講演□ □東本願寺に於て□

△日本に於ける茶道の大家鷲山宗甫先生の茶道講演は日曜の午時一時から夕刻まで前後五時間に渉つて催ふされました

△會場南山本願寺の庫裏には京城の紳士や夫人方が約八十餘名も來聽されてなかなかの盛況でありました

△「茶道の本旨といふものはあの動作即ち手前が一の修養であり同時に悟道に入るべき動作である

△茶道の實體を無形の方から申せば和敬清寂を得るに在る即ちその三昧に到達しなければならぬ

△利久の遺鉢を傳へた南坊の庵室には「手水は心頭を洗ふを要す」と記してあつた

△茶道の實體を現した方から申せば質素簡朴である、故に茶器の如何は問題にならぬ、寶石の指環を輝かして茶にのぞむが如きはお話にならぬ

△茶は禪から出たものと云ふが左右では無い、唯だ禪語は簡にして要を得るが故に茶の説明に拜借したまでである

△私が七十餘歳の老齢を以て斯樣に元氣で居るのは平素茶を飲用するからである、昔しから長壽を保つは高僧とか或は仲山道地方に長壽者が多いのは茶のお蔭である……」

●恐ろしい大敵

▽誰れも御承知の▽ ▽筈ではあれども▽

◎蠅が傳染病の媒介をすることは誰れしも御承知のことでありますが朝鮮は最も蠅の多い土地でありますからこれからはよく注意しなければなりませぬ

◎先づ家屋の内外を清潔にすると、牛馬糞は厩肥に集めて消毒液または石灰乳を撒布すると汚水溜、井戸流し、臺所等の水排けをよくし塵芥箱には蓋を設けまた不潔な溝、下水道には石灰または石灰乳を撒布すること便所は最も清潔にして防臭石灰をまくことが大切であり升

◎また蠅の驅除法としては蠅取器を用ゐると室内の天井に紙または蠅を吊して夜間休息しに來る[illegible]

□中學生と健腦丸

めちや吉

Mの奴は賢い奴だナ、こんな嘔吐さきは嫌はなかつた、試驗に健腦丸をのむと頭腦がよくなつて、なかなか一寸覺えた事を忘れないと云ふから、試驗にして昨晩寢る前に三回分一度にのんで寢たのに、昨日練習した所を一つも覺えてやしない。Mの奴は何を云ふか判りやしない

●妙心寺の七砂供養

見岳博雄師の來鮮

臨濟宗大本山妙心寺派の大分縣相國寺住職見岳博雄師は釜山大邱地方の巡錫を終へ九日夕京城に來錫し沙洞の妙心寺別院に留錫して居られますが十一日から十五日まで五日間毎日午後二時から夜は午後八時から通俗的法話がある筈でありますが同師は又西國三十三箇所の靈場から砂を持參されて居られるので信者の方の爲に七砂供養の催もあるさうであります京城に居つて三十三箇所の寺參りが出來るのですから定めて賑やかなことでありましよう

●總督府の地鎭祭

道廳新築に

なる總督府内の總督府廳舎は十五日盛大な地鎭祭を執行します

●宮崎先生逝去

去る四十五年一月以來病に臥された宮崎藤三先生は十一日午前一時御病氣で逝くなられました葬儀は十二日の午後五時大和町の開教院で執行され職員生徒一同の深山なる弔詞があり升した

番茶のあこ

先年陛下が東宮として京城に成らせられた時當地ではその鯉の買ひ上げを斷行したとがありました▲或る日の事永樂町の交番に一人の鮮人が來て鯉の御買上げを願ひますと云ひつゝプンプン唸る鯉袋を持ち出しました▲警官が規定の値段で買上げようと致しますと件の鮮人は泣き出し相な顏をして云ひました▲「此の鯉は總てまだピンピン生きて居ります、これを死鯉と同値で買はれるとは餘り御無理かと思ひます……」と

獨逸人の發見した大冶鐵山

□千年前の鐵屑が其の儘遺る□

◇朝鮮にも近來方々に鐵山が發見され採鑛されつゝありますれども恐らく支那の大冶鐵山ほどの大鐵山はありますまい

◇大冶鐵山は最初支那近代の傑物である張子洞氏が獨逸人の技師を伴れて山に入り實査に從事した結果發見されたものですが實に支那の大富源といつてもよい位の雄大な鐵山であります

◇それで獨逸人の技師は弥かに北京の獨逸公使館に内報し獨逸の有にしようとしたので一時は獨逸政府から大冶附近の土地を貸して呉れなどゝ却々の悶著を重ねたものでありました

◇その後一時は獨逸と白耳義の資本で經營したこともありましたが山中には今でも千年前に掘り出した鐵の選り屑がそのまゝ殘つて居る相で屑と云つても僅かに百分の十乃至十五位ゐを扱き取つた許りとは勿體ない程である相です

◇併し當時は附近の木材を燃料として製鐵を試みたので其の後燃料の缺乏から自然に廢めたものだらうとの話ですが附近七里にして有名な石炭山のあるのは當時の人は知らなかつたのであります

◇這回青島戰爭に於ける日本軍は大冶から出た鐵を以て獨逸を擊つて居りますが偶然とは云へ獨逸人が發見した鐵山の鐵が獨逸の青島を攻めるとは何といふ一種の皮肉でありませう

◇日本は歐洲戰爭後鐵材の輸入が杜絶して困りました鐵は軍艦、大砲、小銃、砲彈を製るにもまた各種の機械器具を作るにも日常缺ぐべからざるものであります

◇今日國家は鐵の需要高で國の文明がわかると申します然るに日本の使用高は一年僅に百萬噸に過ぎずこれを米の三千八百萬噸、英の千百の二千六百萬噸、獨逸の千五十萬噸に較べると日本も大に奮發せなければなりませぬ（加藤代議士談）

だいどころ その日

●鮎の甘露煮

鮎のこけを去り腹をあけ串にさして白焼とし鍋に入れて酒と水を入れ湯なしに弱き火にて二時間位煮る後味淋の煮切りと醬油を加へ汁のなくなるまで煮るつまりざはに水飴を入れて煮るサいいげんの頃加減にしたゝをを五分位に切り共に盛り合す

鰻の蒲鉾

鰻の頭をとり一寸洗つて皮をむきその身の三分の二を庖丁の背でよく敲きつぶし摺鉢にとりてよく摺り古木二本にて摺りつぶしその中へ鷄卵を割り入れ爾ほ玉子の味淋を混ぜて摺りその鰻の十分の一ほどの鷄卵の白味を混ぜ爾ほ十分の一の麩粉を少しづつ加へよく擂りまぜます、その鰻肉にとりおきたる殘りの鰻の身の方からひらき鰻肉を下にして身の上に置べその上に麩粉をメチメチと振りかけ一時間ほど置き蒸籠より鍋のふりかけ粉の擂りつぶした肉を上からふりかけ一二分間ほど蒸して適宜に切つて出します——（青木菊子氏談）——

婦人界消息

●大阪の見學團　大阪市教育會の淑女見學團五十名は八月一日梅田驛發四日入京五日市內を見學の上滿洲に向ふ由

●梶原大尉の記念式　南大門小學校にては同校々庭で名譽の戰死を遂げられた梶原大尉の武勲を記念する爲め來る八月一日に記念式を舉げます

▲橋本事務官夫人（土地調査局）　來る令嬢日令息の誕生日に茶話會を催されます

▲スミス夫人（奧以敎會）（朝鮮支部長）　十二日朝鮮品川へ赴かれました御歸京は未定

—△會いろいろ▽—

○喜多流六月例會　十八日午後一時より本町倶樂部にて開會素謡には賀茂、忠度、飛鳥川、葵上、洗い小町（婦人連）囃子連あり其の他仕舞囃子の外に狂言あり役割は抽籤

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

[illegible]

●石油値下げ

石油は歐洲戰爭の影響により…一圓七十錢の協定値下げ…俄然七十五錢…値下原因

[illegible]

●洋釘愈々下押す

[illegible]

五十錢方　五十錢乃至一圓安

[illegible]

●浪平板輕々

[illegible]

下關相場

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人　支配人　土居　電話二八三

各地商況

○釜山（十一日の穀物）[illegible]

○木浦（十日の穀物）[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

確實　迅速

廣澤正太郎

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

▲十二日前場　七錢高の入電…五錢高に寄付…大阪十錢高移り…十二圓〇二錢上…十二圓〇二錢…仲十二圓九十五錢…九節十二圓九十錢安…四錢安と押

[illegible]

依然保合ひ

[illegible]

市場巷聞

▲中限新規賣…玉數小四千石に上る…先限へ乘替

[illegible]

田中會計事務所

電話二八…

▲伺小相場乎　▲割高乎割安乎

[illegible]

仁川米豆取引所

十二日の八月限　前場

[illegible]

賣買取組高

[illegible]

北濱だより

[illegible]

▲尼紡株奔騰

[illegible]

▲郵船株活況

[illegible]

主張　中限の十二圓處…六十五錢を

割高に非ず

中限より下鞘に

在中限の割

高觀

先限は賣方の優勢

不可能の時代

移出は全然

出殼漸く相俟

強氣側と弱氣側

見解異

[illegible]

演藝案内

黄金館

黄金町四丁目　電話二六三七

六月十日より　新築落成開館記念特別大寫眞　天然色活動寫眞株式會社撮影一千代繪卷

●實寫フローレンス●滑稽ザム君の網帽　○新派悲劇白ハンカチーフ　最長尺　○探偵大活劇「アルタス」全十卷

[illegible]

浪花館

明治町　電話二六〇番

今晩の讀物　△二人傑僧（新之助）△湖田主水（如月）△櫻川五郎藏（夢甲）△水戸黄門記（兎月）△佐原家騒動（長講二席）△金襴緞子（桃中軒如雲）

御成座

本町　電話二一九一

七日目続題　一番目　義俠　全十一場　二番目　やかす婿

大正館

櫻井町　電話八七三

[illegible]

月やく

月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい良法無料にて申上候

東京神田錦町三ノ一九　境田けい子

大美代

卷賣　富士商會　大邱電話五〇六番

破産宣告公告

本田滿壽男

右ノ者ニ對シ破産ヲ宣告シタリ詳細ハ本年六月九日朝刊ノ京城日報ニアリ

京城地方法院

北海道產

海產 雜穀 輸出商

小樽區港町本通

大杉商店　電略「ヲス」又ハ「ヲ」

秋時種子御並特賣

左記種類に限り[illegible]

▲練馬大長尻大根　▲練馬大丸尻大根　▲宮重大長尖尻大根　▲宮重大丸尻大根　▲聖護院大根　▲早生大根　▲時無大根　▲美濃早生大根　▲三寧坂大根

○赤頭砂糖大蕪　▲湖南大蕪　▲天王寺蕪　▲赤大蕪　▲時無大蕪

東京 三田 洋種雞及雞卵 養雞器具 目錄進呈

飯田殖產社

ペップサイダー　ブドウサイダー　キリン印ラムネ

發賣元　平壤泉町　梶原商會支店

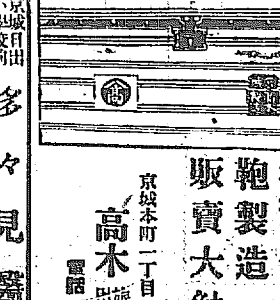
氷道具一切新荷著

硝子食器　硝子製品一切　舶來食器類　菓子水飴瓶　硝子製ハイトリ器

京城本町二丁目　御商　長門屋商店　橋本信次郎　電話一三二二番　振替京城一八七三

●特別大勉強仕り候間多少不拘御用命願上候

東京製鞄　旅行用具一切



御德用の支那鞄製造一手販賣大勉強

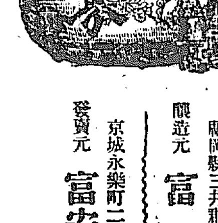
京城本町一丁目　旅行具　高木出店　電話一三四番

多々見醫院

內科 小兒科 皮膚病 花柳病　入院隨意

京城日出小學校前　院主　醫學得業士　多々見五郎　電話九〇番

優等清酒



福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店

京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店

貯蓄預金

元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店

同　龍山出張所

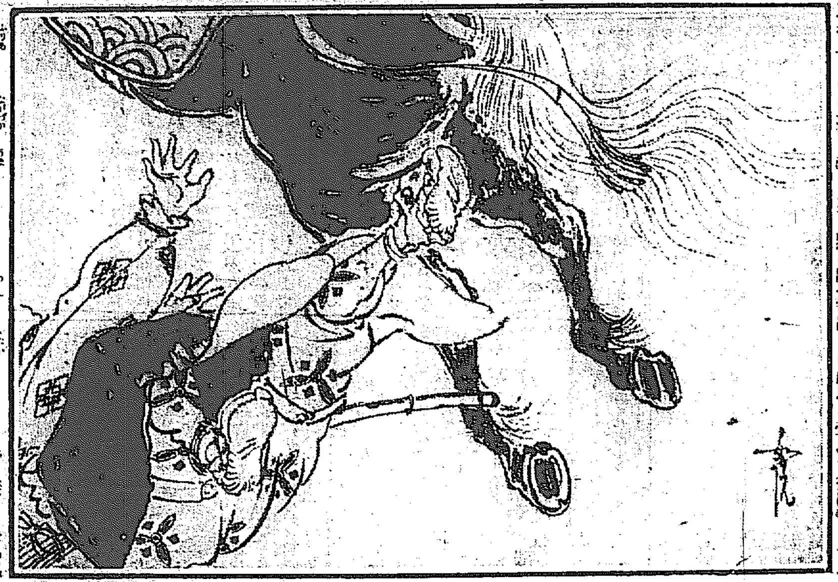
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

宮本武藏

第六十七回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

淺野甲斐の弟淺野主馬之助馬を飛して其處へ乘込み來り 主『殿の上意でござる御兩所爭そひを止められよ殿の上意でござるぞ』と高聲に呼はつた、宮本幸ひなりと馬を引廻はし逃かの所へ乘拔け馬より飛下りて幕の中へ這入る傳八郎は上意といへども耳にも入れず宮本を追はんとして馬を躍らせて乘込んで來る、淺野主馬之助大音上げ 主『上意でござる長束氏お止りあれ長束氏』と聲を懸け鞭を振上げて長束の馬をピシーリと打つた、元より冷相がある位の惡馬、鞭で打つたから堪らない、一聲嘶くと棒立に跳上つた、鞍に堪らず長束傳八郎眞逆樣に落馬したがウームといつて目を廻してしまつた、厄介な男もあればあるもの、馬は其儘躍上るとパッパッ／＼砂塵を蹴立て、竹矢來を蹴破て外の方へ飛出す、ソレ馬が暴れ出したといふと數萬の見物右往左往に押合折合悲鳴を上げて逃惑ふ大變な騒動、徒士足輕の面々取押へようと思つても近付く事が出來ない、所へ馬を飛して乘込んで參りましたのは大和流弓術指南番岡崎織部といふ老人、此人も戰場往來の豪傑馬術も能くいたす馬から飛下りて件の荒馬に近付きカッチリ轡面を取ると逆に捻つて下からドンと突上げ 織『ドウッ』と一つ聲を懸けた栗毛がヒヨイと見ると恐かない伯父さんだから、之りやアどうも見損なつて濟みません、御免なすつてお吳んなさいと言ひもしないけれども畜生の中でも馬位能く人を見る物はない、ピタリと止つた、織部鞍へ手を懸るとヒラリ跨りパッ／＼パッと二廻り三廻り乘廻してパッと飛下り 織『是れ性悪かに此馬を牽ゐて往け』と言つたが大したもの、殿を初め一同織部の働きに舌を捲いて驚かれました、織部は塵打拂つて幕の中へ入る、此方は長束傳八郎目を廻して居るから大勢の者が其場へ來つて介抱いたすと漸々奴さん氣が付いた、流石の傳八郎滿面火の如く赤面を通り越して火事が出さうになつた、起上ると腰を擦りながら幕の中へ這込んだ、其樣子が可笑しいからワーッと聲を上げて笑ふ、中で殘念に思ひましたのは西尾孫左衞門、けれども仕方がない宮本は改めて御前へ召されお賞の言葉があり、馬術弓術さへ其位だから劍術の名譽なのは見ないでも分る上々の首尾でお杯を賜はる、尚其外騎射に出た人々勝た者も負た者も御前に召されてお杯を下される、之は奉納試合だから勝負があつてもないやうなもの、一同有難くお杯を頂戴いたす、其中に君公御歸城に相成り一同も家々に引取りましたが宮本武藏上田の屋敷へ立歸つて主水に向ひ 武『さて御家老、永々御厄介に相成りましたが手前明日お暇を頂き出立いたします』主『ハア御出立なさるか』武『どうも手前が厄介に相成つて居ると御家中の方々が何となく面白からず思召す樣子、其といふのも君公初め貴殿が御贔負下さるためで若し此後今日のやうな事があつては相成りませんから手前一ト先づ暇を頂いて出立いたします考へ』主『ハハアイヤ少人鼠輩の致す事などは取るに足らん、決して御配慮に及ばん併し其許も御用のある身無理にお引止めは致さんから御隨意になさるやう』武『其では勝手がましうござるが明日出立を致します、何れ再び御目に懸りますが御機嫌能く』と開で其晩一晩泊つて翌日暇を告げて武藏廣島を出立いたす事になる殿へは上田主水から武藏お暇乞の由を申上げる、改めて御前に召出され厚きお言葉を下され、武藏有難くお暇乞をいたし、其他家中の重なる人々へも別れを告げて出立いたしました、この弓術指南番の岡崎織部といふ人が後に仔細あつて西尾孫左衞門と議論の上長束傳八郎のために暗殺されました、子息の左門と息女のお雪父の仇を討たんとして辛苦を重ね、後年宮本先生に再會いたし義に依つて武藏正名助太刀をして長束傳八郎を討取るといふお話がある、其は後にいたしますが宮本先生廣島から便船を求め、肥後の熊本へ乘込んで佐々木岸柳の道場を尋ねるといふ一席。



六月十四日九星
舊五月十四日壬午
本命九紫 雨風赤口

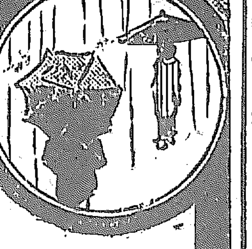
▲九紫 暗靜日論を生ぜんとす謹て新事見合西方は吉南西鯨へ▲一白 池のような事有日 新事手控 [illegible]

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 專門
永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話一九一四番

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

孔雀の羽の艶々と黒く輝くより…猶美はしい自然の黒髪と全じ色に染る。
ナイスから
ナイス
赤毛染
ナイスの五大特長
■僅々二十分で染り
■永く保ち洗ふて剝ず
■襟枕に浸染せず
■却て毛の歸を防止し
■用法至極簡易也
男子用小瓶三十錢 大瓶七十錢 小瓶四十錢
發賣 大阪、東京、丹平商會
全國到る處の藥店化粧品店に有り

梅雨の來ぬ間



平素壯健な婦人も病ひ易き梅雨
此の際誰方もお忘れなく
靈藥 中將湯 召して
濕氣から冷込まぬ用心を遊ばすが何より肝要

主治効能
●子宮病 ●婦人神經 ●逆上頭痛 ●夜眠れず ●腸加答兒 ●下腹痛み ●産前産後 ●難産流産 ●月經滯り
●血の道 ●氣ふさぎ ●癇高ぶり ●內膜炎 ●こしけ ●腰足冷込 ●つはり ●月經痛み ●血ぶとり

婦人衛生手引
御申込み次第無代進呈
本書は月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる家庭療法、産前産後の攝生法等を知名の專門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料として郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致します。

定價	
二日分	二十錢
四日分	卅五錢
一週分	六十錢
二週分	一圓十錢
三週分	一圓六十錢
五週分	二圓五十錢

▲加減藥あり容態詳しく御申込みあれ
加減藥定價へ 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢

■中將湯は世界到處の藥店にあり市內配達無料
東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店
大阪市堺筋大寶寺町南入 津村順天堂支店

畏くも高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車
御大典記念特製品
エンパイヤ號自轉車（名古屋御大典博覧會出品）
エンパイヤー號自轉車
品質優良二大製品
純英國製 鐘馗タイヤー
日本製優等品 カクダイタイヤー
朝鮮總代理店
朝鮮京城明治町二丁目
瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番
發賣元 直輸入商 鈴鹿商店自轉車部 京都本店

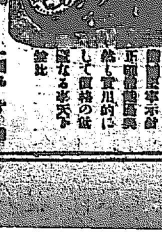
滿鮮第一
漬物味噌問屋
嶋屋本店
京城岡崎町

胃病新藥 マーゲン
約特店 京城南大門通二 新井藥房
大阪本町一丁目 保田藥房

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは
美味滋養 蜂印香竄葡萄酒
の生命と眞價なり――！
凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
●毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す
●毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてまず〳〵健康の人となる!!
東京日本橋本町 近藤利兵衛

消毒全乳設備完全
大邱 吉田牧場 錦町 電話四二番

新荷著 スキッソル型 懐中時計



[illegible]

右は今回本商會の商品にて [illegible] 代金引換
時計、蓄音器、ミシン、鐵城自轉車、洋酒、各國貨直輸入商
イングレッソレー商會
本店 京城本町二丁目 電話九二三番

汽車 [illegible]

京城日報
第三版
十三日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大阪三品
仁川米豆取引所

時局評話
德富猪一郎氏談
二、キ元帥の死

キッチナー元帥が亡くなつて英國ではさぞ士氣が沮喪するであらうといふ人があるが自分は左樣考へぬ。キッチナー元帥は、正直なことを言へばキッチナー出でずんば蒼生を如何せんと言はれるやうに、戰爭の初めに輿論が無理押しに押して、何れの黨派にも關係のない武人を引張つて來て、英國の内閣制度には異例とも言ふ可き陸軍大臣が出來たわけである。

それで、其當時は愛蘭の經緯から陸軍大臣であつたシーレーが辭職をして首相アスキスが陸軍大臣を兼ねてゐた。アスキスの心では、當時の大法官、前の陸相ホルデン卿を今一度持つて來るといふ積りであつた。然かるにタイムスを始め、有力なる新聞がホルデン卿は親獨派で英國を誤まつたのは彼である彼に英國の軍政を托するのは危險であるからと論じて、つまりキッチナー將軍は新聞が推薦したのである。それで、其人が出たから非常に旨まく行くだらうと思つてゐたが、著々事が喰ひ違つて來た。

第一の齟齬は、機關砲が非常に尠なく、又有力なる爆彈が甚だ少なかつた。軍需品が思ふやうに行かないといふことである。それで遂に陸軍大臣の仕事を頒けて軍需大臣が出來てロイド、ジョージが就任した。キッチナー元帥の本領は軍政家としてであつた。ところが軍政家たる本領は、軍需大臣が出來て、不信任投票をうけたも同樣である。其れなら飜つて軍事上のことは何うかと考へて見ると、第一の失敗はアントワープの應援であつて、是れは行ることはやつたが、微弱なる兵を遣つて全く逐叩きに會つたと言うに過ぎぬ。其れからダーダネルスの攻擊は何うかと言ふに、多くも無い英兵を十五萬人も失つて漸く引き上げて來たといふことになつた。サロニカの上陸軍は何うかといふに、是れも希臘の態度が曖昧であつて、巴爾幹の向背は豫想外の結果で、また大失敗、それからメソポタミヤの遠征は何うかといふに百四十三日も籠城して遂に一萬四千人の兵がおめ〳〵と此の五月には土耳古軍に降參した。それで、キッチナー出でずんば蒼生を奈何と言つた新聞も愛想を盡かして盛んに攻擊し、今日では英陸軍中最も不人望の一人であつたらうと思はれる。

併かし、自分の見るところでは、元々、キッチナーが惡いわけではない。餘り多くの望を囑して居て、其望が遂げられぬとて不平を言ふ輿論が間違ひである。キッチナー元帥は、昔も今も別に變りはない。彼は工兵科の出身で數理には長けて居るし、一度遣り初めれば徹底力も持つてゐる。一の目的のために多くの時間をかけて專ら其れに力を注ぐといふことになれば成功せないこともない。則ちスダンに於て僞聖マジイをやりつけた手際などいふは其れである。しかし這度の戰爭のやうに、八方に氣を配ばり、手と心とを一所に働かせて、電光石火、臨機應變の働きをするのは彼の長所で無い。今日では新聞紙の上にもロイド、ジョージなどの名が多く有るばかりで、キッチナーの名は、殆ど言ふ人も無いやうになつた。もとより、是れ程の人であるから、生きてるが可いか死んでるが可いかと言へば、生きてるに增したことは無いが、彼が死んだことが、ネルソンが死んだといふ意味やウエリントンが死んだといふ意味とは餘程違ふ。

今や、英國には、軍事總督としてヘーグ將軍あり、參謀總長としてロビンソン將軍あり、軍需大臣としてロイド、ジョージが居る。愈、徵兵令も布くといふことになつたから、議會に於ける陸軍大臣としては、元の制度の通り、政黨出身の文官大臣を持つて來ても差支無いのである。自分はキッチナー元帥の死を、不幸は不幸に相違ないとは思ふが、此の爲めに別に英國の士氣を沮喪するとは多くあるまいと信じて居る。

金剛山寫生
平福百穗

△一應臺、仰正臺の奇勝を過ぎて金剛門に至る、此邊から谿を挾んで矗々と立つ山容の大きさを加へる

内地臺灣所觀
漢城銀行專務 韓相龍

五、臺灣の財政

臺灣の財政は特別會計と地方稅會計との二者より成り、特別會計は本島の收入と國庫の補助金とを歲入とし本島經營の諸般の歲出に充つるものにして、明治三十年度より施行し、地方稅會計は地租附加稅を除く外特別會計の賦課せざる物件に賦課して得たる收入金と（家稅、畜稅、物品販賣品稅等）特別會計の補充金とを以て收入とし、地方廳費其他の支出に充て特別會計を補けて本島經營をなすものにして明治三十一年度より之を施行せり

國庫補充金は從來每年二百四五十萬圓を國庫より補助を受けたりしが本島收入の發達に伴うて漸次補充金を遞減し、四十三年度を期して財政獨立の經濟を樹つるの目的を立てたり然るに本島諸般の施設擴ふに伴ひ、產業の發達を來たし從つて收入の潤澤となりて茲に豫定に先ち明治三十八年度より全く其目的を遂げ財政の獨立となれり

今臺灣の歲出入を見るに、大正三年度歲入總計五千三百萬圓、歲出總計四千七百七十萬圓にして、歲入超過五百三十萬圓、大正四年度歲入總計五千一百八十萬圓、歲出總計四千一百七十萬圓にして歲入超過一千十萬圓となる

大正四年度歲出入の主なるものを揭げんに、歲入には砂糖消費稅六百萬圓を第一位とし鐵道收入五百八十萬圓、樟腦收入五百六十萬圓、阿片收入五百十萬圓、煙草收入五百萬圓、關稅諸收入三百五十萬圓、地租三百萬圓、酒稅一百八十萬圓、阿里山收入一百六十萬圓の順序となり、歲出には專賣局の九百八十萬圓を初め、事業費五百萬圓、鐵道作業費三百四十萬圓、地方費補足三百萬圓、通信費百五十萬圓、特別事業費百五十萬圓、勸業費百五十萬圓、總督府百三十萬圓の順序となる

外に砂糖消費稅の約三千萬圓內外は大正元年度より國庫の直接收入として大藏省へ讓れり

○目のさめるやうな七月號出來
文學士寺田精一先生監修
トモダチ
奇拔鮮麗の教育的幼年繪雜誌
特別附錄 手工應用 フシギの時計
每月一回發行 一冊十二錢 郵稅五厘 六冊郵稅共七十錢
東京麴町富士見町 二葉社 振替東京三三六三番 電話番町四〇五八番

日韓書房 新版報告
横山又次郎著 珍らしき自然の現象
若林欽著 海事思想の喚起 海の趣味
香山折人著 心理應用 人心操縱法
熊田宗次郎著 日蓮上人
大町桂月著 最新式辭と演說
京城本町二丁目 日韓書房

海員募集
最新の航海に關する學術を教授し海員を養成す卒業者は各汽船會社へ就職せしむ
東京芝愛宕町 帝國通信航海學校

吉田幾次郎先生著
最新英語獨修初步
最新英語獨修書
最新高等英語獨修書
本書は英語研究雜誌「ABC」主筆として有名なる吉田先生の著にして英語の讀方會話作文文法習字等あらゆる事項を網羅し懇切に說明し少しも英語を知らざる人にも解し易く
英語を巧に讀み話し且綴る
發行所 大阪市東區淡路町 東京日本橋本石町 寶文館

贊助 文學博士 關根正直先生
顧問 文學博士 幸田露伴先生 饗庭篁村先生
絕對的非賣品
德川時代 洒落本刊行會 會員募集
每月一回配本各冊約二百頁木版數十枚挿入總振假名付クロース色箔
申込所 東京市本郷區駒込神明町八十九番地向上社内 洒落本刊行會

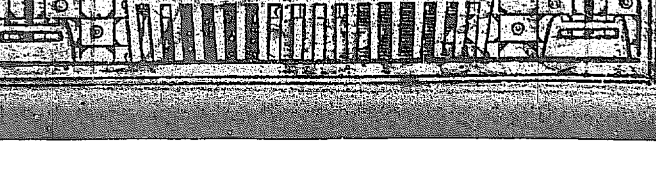
歐洲戰爭實記
戰術の一大變化
支那の動亂と其人物
佛國中部戰局地圖 挿入
第六十四號 六月二十五日發行 定價二十錢 郵稅二錢 東京 博文館

支那研究
支那の現在及未來如何
大好評第四版發行
獨逸研究 定價壹圓 郵稅八錢
菊判美本 全一冊 五百頁 正價金壹圓 郵稅八錢
支那は興國か亡國か？
四百餘州の安危如何 四億の蒼生を如何せん
本書は我國に於る支那通の大家として最も傑出せる十八名の大家が分擔執筆せるものにして一讀して支那の政界財界軍事産業世態人情の凡ての眞相に通じ得べく 蓋し我國民必讀の書
本書は支那研究の姉妹篇にして好評既に四版を重ねたる近來の名著也獨逸の燦然たる文明と強大なる所以は本書によつて始て氷解されたり
東京市神田區 錦町十六 日文館雜誌部
△大賣捌所 朝鮮京城本町一丁目 日韓書房

七月號出來
幼年の友
新意匠の附錄 お伽百面相
實業之日本社

國旗並に附屬 玩具諸雜貨卸
大阪順慶町三丁目 西芳商店

宮内省御用達
帝國鑛泉株式會社
三ツ矢 平野水 サイダー
全國一の生產高を有する最も衞生的の飲料であります
御大典記念飲料
コローナ
風味佳良にて高尚なる飲料でありますから御愛飲を願ます



破產決定公告
京城府蓬萊町一丁目五十番地 倉庫營業者 朝鮮倉庫株式會社

沒收物品拂下
朝鮮總督府

京城地方法院民事第二部

○黎大總統の申令

北京政府公報は十一日左の如く十日付大總統申令を發表せり(東京某筋著電)

一「現在の責任内閣は正に其權限を確定して其の責任を明にすべし

一、審役の陸海軍隊元帥統率辦事處は要に國務院會議に於て廢撤することに決定ぜるを以て直ちに之を實行すべし而して其の所管事務は兩後陸軍部海軍部及び參謀本部に移し各其職掌の範圍に付き其々辦理せしむべし

○東清鐵道買收期

東清鐵道を日本に買收する事は朝野一致の希望なる而已ならず日露兩國の間には外交的内交涉を遂げつゝあれば近き將來に於て確實に買收の實行を見るに至る可し(東京電報)

○墺軍勝算無く退却

維納來電に據れば墺國公報はヴゴヴイナ(ガリコヤ最東南端羅馬尼と露國との國境に接す)の東北方面より優勢なる敵軍に會し撤退したる旨を承認せり同方面には目下極めて猛烈なる戰鬪行はれつゝあり(紐育電報)

○露軍引續墺軍を驅逐

露都公報に曰く露軍は依然として墺軍を驅逐しつゝあり數千の捕虜と多數の軍需品を鹵獲したり(東京特電)

○海軍參謀長會議

海軍省にては横須賀、呉、舞鶴、佐世保の四鎮守府、大湊、旅順、鎮海、馬公の四要港部及び第一、第二艦隊參謀長等を召集し十二日より向ふ一週間參謀長會議を開催の筈(東京)

○上旬貿易入超

大藏省の調査に係る六月上旬の外國貿易は輸出に於て製糖、材木、樟腦寸燐、羽二重等幾分増加せしも生絲、銅、絹織物、莫大小等の減退著しき爲め一割二分を減少し輸入は棉花の増入に依り二割七分を増加し結局五十八萬九千圓の輸入超過を示せり(東京特電)

□聖上御聽講

聖上陛下には十二日午後二時御用掛小牧昌業氏を宮中御座所に召させ給ひ前回に引續き貞觀政要の御進講を熱心に御傾聽遊ばされ午後三時三十分入御あらせられたる旨拜承す(東京特電)

○東拓今後の方針

東洋拓殖會社にては政府補給金三十萬圓繼續の前途甚だ悲観し難きに付吉原總裁は去月下旬總會の席上補給金なくして如何に會社の事業を經營し行くべきかに付考慮を廻らし居れる旨演說し居れるが右に付會社要部の某氏は曰く會社にては總裁の方針に從ひ補給金なき本年度の經營方法に付相當實行豫算編成中なるが金融部の積極的方針は之れを別とし事業部及び總務部の新事業は大體に於て手控への外なし乃ち新營の必要ある某々出張所舍屋及び倉庫の如きは少なくも米價の立直る迄延期すべし又會社の著手を要する水利開墾事業の如き大規模にして多額の資金を固定せしむる計畫は到底補給金を得ざる限り起工不可能ならん唯前年來著手中のもの若くば小規模の灌漑開墾事業は不充分ながら其の經營をなし得べき手、移民の招致に於ても從來の如く多數を募集し得ざるべく大に手心を加ふる事とならん

●海底探檢著手

總督府水產課にては九日より大正五年度第一回海底探檢に著手したり今回は前年の探檢とは全く無關係にして嘗て玉珧貝の豐產を以て聞ゑし慶尚道巖水灣が昨年の苦潮襲來後海底に變化を來し玉珧貝續出の模樣あるより其狀況を調査し併せて鳥貝、瀬戸貝、赤貝等の棲息狀態をも研究す可く探檢期間は二箇月にて八月上旬終了の豫定なり

●課税價格引上

十六日より實施

總督府度支部關稅課に於ては來る十六日より各稅關に於ける輸移出品の課稅價格を左の如く改定實施する事となれり

品名	品種	數量	價格
大豆	上品	一石	六、七〇
同	並品	同	五、九〇
小麥	上品	一石	七、〇五
同	雜品	同	六、三〇
小豆	上品	一石	八、三五
同	雜品	同	七、四〇
牛皮	在來千皮上品	百斤	五五、〇〇
同	同雜品	同	四六、〇〇
同	改良千皮上品	同	六〇、〇〇
同	同雜品	同	五〇、〇〇

尚ほ大小豆小麥は各石十錢上り牛皮は在來千皮上品六圓並品三圓又改良牛皮は上品十圓並品七圓を何れも引上げたり

●鱒卵四萬餘粒

民間孵化事業起る

總督府水產課所管に係る慶尚南道密陽鱒鯉養殖場にては養鯉の外、曩に東京水產講習所の群馬縣丸沼養殖場より三萬粒の虹鱒卵を購入孵化に努めたるも水温激變の結果成績良好ならず、漸く其半數を孵化し得たるに過ぎざりしより水產課にては更に一萬粒の鱒卵を購入、九日之れを同養殖場に送付せり、尚之れと同時に別に三千粒の鱒卵を購入し宋秉畯子爵の經營に係る釋王寺養殖場に配布せるが同養殖場は昨年開設にて鮭卵を孵化せしめ居たるも本年よりは虹鱒をも孵化せしむることゝなれる次第にて民間に於ける孵化事業は同所を以て嚆矢となす由

●新補助貨と朝鮮

朝鮮にて補助貨の不足は各地を通じて居れるが國庫より新鑄造の一錢青銅貨二百圓丈け既に朝鮮支金庫に送致せし由れ付近く市場に新銅貨の流通を見るべしと

●長安坪の開墾

東拓にて四年の歳月と三十數萬圓の工費を投じ昨夏開墾を竣れる纛島面及び漢芝面に亙る長安坪四百廿八町歩の水田は昨年より其の挿秧をなし居れるも前年迄の堤防設備のみにては漢江最大の出水に際會せんか耕地に浸水の虞れあるに付今春來新計畫を立て更に一層漢江に沿ふ堤防築設の完成を圖りつゝあり多分六月末迄に竣工すべし尚ほ本年も開墾水田の全面積に對し目下挿秧中なるが用水豐潤の爲農民は喜悅しつゝあり

●石油協定値下

京城の石油界は三月の天井相場一箱松印六圓六十錢を久しく持續しゐたりしが何分暴騰による一般の需要減退と夏期に入り其の用量の激減せる爲め斯界の商況昨今頗る閑散なるに最近内地思惑筋の投物多量市中に出で販賣價格の混亂を來せし爲め一兩日前東京に於て内外四大會社協定の結果價に約一圓方の引下げを發表したる爲め京城にても十一日より一箱松印七十五錢方の下落を來し松印五圓八十六錢となれり尤も戰局に基因する歐洲方面の需要激増鑵其他の原料騰貴並に運賃暴騰等の爲め尚ほ昨年の普通價に比すれば一箱二圓四五十錢方の高値なり

○我家に放火す

手に逮捕されたり[illegible]去る[illegible]圓にし[illegible]原因は前記孫姓女は[illegible]末までに引渡すから金を貸與し呉れ[illegible]方面に逃走せるを[illegible]

染料問題

如何に之を解決すべきや

中央試驗所技師 今津明氏談

■歐洲戰亂と列國の染料界

歐洲戰亂以前に於て世界各國の人造肥料生產額を見るに大正元年調査によれば獨逸の一億三千六百餘萬圓を最多とし、瑞西の千二百餘萬圓、英國の千百餘萬圓、佛國の千萬圓、米國の七百五十萬圓、墺國、白耳義、和蘭、露國等併せて二千萬圓、是等歐米諸國の合計無慮一億九千八百餘萬圓に上る。

▽染料自給問題

即ち約二億圓の人造染料中、その過半以上は獨逸に於て製造せらるゝものにして、戰亂の起るや、何れの國も染料の供給に不足をつげ、先づ第一にその火の手を擧げしは英國にして、同國は織物、革、紙等染色すべき製品約二十億圓を年々生產しつゝあるが染料の供給不足は直接コレ等の製品に影響し、從つて多數の失業者を出し、流石の英國も之には殆と窮し染料自給問題は朝野の間に甚だ喧しく先づ官民合同の調査會を設け、遂に政府より一千萬圓、民間より一千萬圓を出資して染料會社を起すに略決定せしも、民間實業家は戰後獨逸品との競爭を恐れ、加ふるに種々の事情纏綿して未だ其體的の進捗を見るに至らず。且つ多年自由貿易主義を實行せる同國が獨り染料品に對し關稅保護の政策に出づるは、之に伴ふ利害得失を精密に調査するの必要を生じ、その關係をして益複雜ならしむるの感あり。

▽日本の對應策

日本内地に於ても染料工業保護案は帝國議會の容るゝ所となり、政府實業家間に交涉に交涉を重ね、昨年七月下旬發表と噂されし法令は漸く十月十四日に發表せられたるが、十二月頃の狀態は權利株の奪取をこれ事とし、眞に事業そのものを十分了解するもの少なく、愈々會社成立の曉には如何にして原料を集め如何にして製品を出すか、又如何なる技術者をして之が製造に當らしむるかの實際的問題には、少しも心を用ふることなきは實に歎息に堪へざるなり。殊に政府は保給利子の下に在る新染料會社は、製品の價格、利益の如何は或程度迄之を眼中に置くの必要なきを以て、在來の染料製造所は到底それが競爭者たることを得ず。その結果は或る意味に於て、染料專賣の如き現象を來すべく目下勃興せんとしつゝある民間染料製造の發達を阻害すること蓋し大なるの感なきに非ず。

●農工資金貸出減少

漢湖農工銀行の五月末農工資金貸出現計は百三十八萬四千三百餘圓(前報五月中とせしは誤まり)にして之れを前月に比すれば十三萬餘圓を減じ居れるが其の減少は四年前麻生鑛業會社に貸出し居たる鑛業資金十餘萬圓の回收されし爲めにて銀行としては著々整理の實を擧げつゝあるを證するものなりと

●牛油は稍不味

石鹼原料及び錆留として内地に需要多き朝鮮の牛油は三四月頃百斤三十圓の値を持しゐたるも其後下り氣味にて昨今二十四五圓に落ち居れり但し出廻り薄なれば前途は强かるべし

●淸會線と材料運搬

淸會線建設工事進捗に伴ひ運輸材料を漸次同地方に廻送する必要生じたる爲め鐵道局にては今回内國通運京城支店をして左の諸車輛輸送を托する事と成りたり其輸送料金は三萬八千百二十六圓諸車内譯左の如し

機關車四輛、客車十二輛、貨車十八輛

●慶北麥收穫豫想

慶北道廳調査にかゝる各地に亙れる麥作狀況は三、四月降水量少なき爲め春蒔麥の發芽生育を阻害し五月は反て雨量多きに過ぎ低温の土地にありては著しく發育を害せしも其後天候適順に復せしを以て生育概して良好にして收穫高豫想は百十一萬六千百七十八石是を前年に比し一割五步五厘増收の見込なり(大邱)

●平南の養蜂

大正四年度に於ける養蜂狀況を調査するに養家の數三千七百九十戶巣箱數七千二百個にして蜂蜜の產額四萬七千三百八十四斤其價格一萬二千九百九十圓也而して蜜蠟の產額一萬三百四斤此價格二千九百七十二圓にして前年より漸次良好の成績を示せり尚蜂蜜及び蜜蠟の相場は蜜一斤二十七錢にして蜜蠟一斤二十九錢の間を昇降せり(平壤)

●平南の牛皮骨脂

平安南道に於ける大正三年七月より四年六月末迄の牛皮骨脂の產額及び價格は牛皮百十一萬五千五百九十七斤此價格二十九萬一千四百二十八圓三十錢にして牛の屠殺數二萬九千四百六十九頭牛骨產額百十三萬八千六百四十六斤此價格二萬九千一百九十九圓牛脂產額十五萬四千九十八斤此價格一萬六千四百八十四圓牛血產額四十萬六千五百九十七斤此價格六千五百八圓にて重なる輸移出先は京城内地(但長崎方面)仁川及び釜山なりと(平壤)

●鑛業登錄稅收入

五月中に於ける鑛業登錄稅收入額を聞くに一萬二千三百七十九圓餘にして登錄濟件數百八十四件なるが此他尚ほ六十六件の不受理あり、這は新令法に馴れざる爲め書式其他に不備の點鮮なからざる結果にして總督府にては一々其不備を指示し訂正方を命じつゝあるも登錄の遲速は双方に多大の不利を免れざるを以て能く新令を玩味し、其手續に遺漏なきを期すること肝要なる可し

●銀行券發行高

六月四日より同月十一日迄朝鮮銀行兌換券總發行高は二千八百五十六萬五千七百八十一圓にして内正貨準備發行高一千百零六萬三千六百八十三圓保證準備發行高一千七百五十萬二千九十八圓なりと

人事消息

▲岩本以明氏(京城地方法院長) 十二日水原へ出張

▲曾根田又雄氏(京城醫學專門學校教授) 消光館に滯在中の處十二日官舍に入る

▲更野職氏(大阪實業新報主幹) 入鮮中の處十二日朝退京

▲塚田忠雄氏(土地調査局監查官) 十二日退京豫定の處都合に依り延期東京旅館に滯在中

■南言北語■

獨逸の新聞が滑稽極まる皮肉だと云つて倫敦に於けるメリケン粉の時價と伯林に於けるそれとを比較して▲英國の海上封鎖は獨逸に對するよりも寧ろ英國自身に對して行つて居るこんな馬鹿々々しい事はないと大いに笑つて居る▲即ち倫敦に於ける去三月以降のメリケン粉一サックの相場は米貨十二弗七十五片を上下して居る▲然るに伯林では同樣のものが十二弗廿五片を最高として居る▲若し獨逸全國の相場を平均すると唯の九弗十八片である▲成る程さう云へばさうも見ゆるが倫敦の相場は鱈腹喰うての相場であるのに伯林の相場は喰はずの空腹によつて維持せられつゝある相場である▲腹が減つても減らず口を叩くに至つては何方が大笑ひか分らぬ▲其の中には其のメリケン粉もなくなるのだらうから最少し辛抱し給へ今にお陀佛も近いよ▲獨逸首相のベートマン、ホールウエッヒが下院に對する演說をやる毎に之に對して倫敦の下院では英首相の長距離演說があり▲伯林と倫敦との長距離討論會は振つて居るが何も戰爭責任轉嫁論だから益々面白い▲獨逸の發表する所によると開戰以來の捕虜は百三十萬人である相な▲百三十萬と云へば鳥渡百箇師團に相當する人員である獨逸の食料に窮するのも最で之等餘計な人間を養はねばならぬ▲イヤ大に食つてやれば早く食料が盡きて獨逸の參るのも早い譯だ▲早大教授の五十嵐力君曰く▲此頃の學生には非常識極まる者が多い作文の試驗に大隈伯の事を書かせたら大隈伯とか大猥伯とか立派に書いたのがあつた▲猥伯は兎に角猥伯に至つては振つて居る▲大隈伯も之を見たら嘸心細い事であるんであらうヨ

●明治神宮獻金に付て

京城に於ける明治神宮奉贊會の獻金額は既報の如く金一萬圓を最小限度とし京城府委員に於て銀行會社其他一般民間より募集しつゝあるが此程に至り銀行會社中内地に本店を有するものは第一、百卅、十八、三井、内國通運其他各保險會社出張所支部等も悉く本社本店に於て獻金の趣明せしを以て爲めに割當額に非常の相違を來し京城府委員金谷府尹に於ては收據上尠なからざる困難を感じ部下吏員をして各町總代其他重なる先に向て親しく交涉中なれば此の際府内の重なる者及び各町總代に於ても成るべく奮つて相當申出でられたきものなりと尚申込期限は六月十五日限りなれば期限内には是非共京城府廳へ申込まれたしと

▲申込者 其後の申込者を擧ぐれば左の如し

▲二百圓(京城府東大門内)金命基▲金二百圓中村再造▲金二百圓森勝次▲金五十圓小林長兵衛▲金五十圓和田常市▲金五十圓城臺一六▲金二十圓(十友合社)三田政治郎▲金十圓樋下田仙藏▲金十圓新井虎太郎▲金十圓淵上貞助▲金十五圓安商浩▲金二十圓樋口卯作▲金十圓原勝一

平福畫伯作品展覽會

東都の畫伯平福百穗氏朝鮮鐵道局の委囑に依りて客月下旬來鮮爾來二週餘日天下の名勝新綠の金剛山を採り歸來畫伯が雄渾精緻なる墨跡は掲げて連日の本紙朝刊第一面に在り我社は此機會に於て更に畫伯の傑作數拾葉と他の雜作とを併せ近く大展覽會を開催することゝなれり豫め一般同好の士に謹告す

主催 京城日報社

京日案内

普通(一回前金三十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢増)
番外(一回前金六十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢増)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

店員入用 十五歲以上二十歲迄 龍山鐵道構内電車終點 龜屋雜貨店 電話五〇二番 372

●古本高價買入 樂堂の勉强是非御試賣を乞ふ御報知次第參上 ▲京城本町四丁目 電話一七八一番 書肆 群書堂 348

●便利宿 一泊三食に付金三十五錢 御下宿一ケ月金九圓 仁川濱町七番地 德島屋 392

▼增訂模範英和辭典 特賣 送料一圓六十八錢 京城本町 振替 ウツボヤ書店 320

店員雇入 年齡廿五歲迄簡記に經驗ある者希望者は履歷書携帶午後八時來談 京城南大門通四 德本支店 391

番外 通稱事 木村泰三 都合有之解雇せり 自今當店には關係なし 本町二丁目 硝子板商 三田政商店 393

貸家 黃金町二丁目一三三首藤酒店の裏 八圓 永樂町二ノ七五 朝鮮建四間家 電話六三六番 京城十友合資會社 394

●事務員入用 簿記に熟練なる者市内確實なる保證人二名を要す希望者は履歷書携帶 姓名在社 390

讓下宿業 市内目拔の場所目下盛業中 (姓名在社) 389

恩給 年金 低利 即時 數年分御立替 其他日掛 秘密 一時 賜金 公債 通帳 商品 買受 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋本店 344

新築貸家官吏向 家賃十二圓以上十六圓まで數戶 初音町二〇〇番地 電話一八〇六番 野中 383

京城春川間乘合自働車 賃金片道四圓 ●京城發午前八時●春川發午前九時 京城水標橋通り 電話貳參八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 60

●京城春川間行自働車賃金片道四圓 ●京城發午前八時●春川發午前八時 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 322

●はねつぎ(うちみ)等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 334

分礦物各種 拆 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四 坂元分拆所 358

恩給 年金類立替 京城本町二(京城銀行横小路) 吉田屋 347

カシ地 古市町電車通約二百坪 水標橋黃金町筋北へ入る十間約五百坪地料抵廉 使宜分割貸與の御相談に應ず 蓬萊町二丁目 電話二二三番 川澄 351

本店新製 クリームキヤラメル 大十錢 小五錢 元祖 パン 木村屋支店 京城明治町 電話二八〇 360

▲店員募集 但し市内に保證人を要す 京城明治町二丁目(元賑町通り) 精美堂印刷所

狂犬病 豫防注射を豫て犬猫牛馬に施し置けば狂犬病に罹る京城に唯一ケ所の家畜に對する京城狂犬病豫防注射所 京城家畜院 犬猫診療 南山町二ノ六 電六九三 395

見習看護婦募集 年齡十八歲以下身元引受人を要す 本町二丁目 浦尾旅館向 京城醫院 376

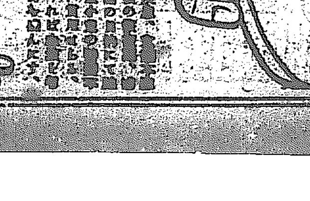
お徳用支那鞄 製造販賣大勉強 京城本町二丁目 高木鞄行 382

鑛物買入所開設 ▼鑛物賣買商行 京城太平通二丁目十八番地 電話七四五 370

外交員募集 外交に經驗あるもの 京城本町二丁目 町田新聞舖 373

給費傳習生募集 卒業後電信技術ニ從事 [illegible] 大正五年六月 朝鮮總督府遞信局

新刊書籍案内
大增補模範英和辭典 / 新英和辭典 / 新式圖畫寶典 / 教育界に表裏 / 新撰二千六百年史 / 增補二千五百年史 / 趣味の日本史 / 理水及砂防工學 / 實用ペン習字帖 / 實用法律講義 / 春浪快著集 / 俳句のちかみち / 旅とふる里 / 男はなべからず / 妹の見たるニチエ / 人の / 作れる野奈 / 僞生學 / うた / ショウペンハウエルの研究 / 花 花 / おらが春 / 第二の女 / 銀の / 半生の
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六



胃腸最新藥 チゲスチン 發賣元 國城商會

▲富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 定價五十五錢 郵稅二錢 京城太平通 發行所

り妻方は女と爭つた末自ら自棄となり燐寸を以て自家に放火して遂に居宅一棟を燒失するに至らしめ其筋の[illegible]せるかこの火災にて崔文甫の母梁姓女(四三)は火中を脫し得ずして燒死せり損害額は二百七十[illegible]

[illegible]大正四年[illegible]住金東輔(三二)に對し白米九十石を月[illegible]を左右にし[illegible]東輔は岡乘淳を相手取り其の筋へ訴[illegible]

[illegible]き在中の現金百六十[illegible]を取り[illegible]通帳は金庫と共に衛路に投棄しあり賊は堀口方に雨傘並びにステツパを[illegible]本町[illegible]

[illegible]乘客なりとて來れる何者にか誘き出され附屬地[illegible]學堂裏の土堤なる叢中に曳込まれ車上より絞殺され[illegible]

●板塀を越して 仁川內里生れ住所不定の張壽德(二七)は十日午前五時半頃京城南山町二丁目木元某方[illegible]

水蓮……パコダ公園……

●ウイルソン氏再選か

―米國大統領選擧の豫想―

ヒユース氏の人物……一致せるデモクラト黨……レパブリカン黨の勢力二分……軍備問題の成行……對獨政策

小松輸長談

紐育電報は大審院判事ヒユース氏は共和黨より大統領候補者として選擧せられ氏も亦之れを承諾せりとの事であるヒユース氏は紐育州に於ける有名なる法律家にして紐育高等法院判事より遂に紐育州知事に爲つた人で技倆人格共に傑出したる人として永い間名聲を博して居つた今日迄の歴史に依れば米國大統領は

□衆望を負うて□

居る紐育州知事から選擧せらるゝ事に殆ど極まつて居つてニユウジョルシ州の知事から大統領に選擧せられた現大統領ウヰルソン氏の如きは全く異例の事に屬して居る紐育は米國の政事經濟社交の中心の地で有る故に知事として衆望を博する程の人物ならば先づ全國の信任を得るに足ると云ふ事に爲つて居る、ヒユース氏は紐育州知事滿期の際には屢々

□大統領候補者□

として謳はれたがウイルソン氏大統領となるに及んでヒユース氏を大審院判事に任命した三權分立主義を理想的に實行して居る米國司法部の最上位たる大審院判事に任命され且つ終身官で有るから法律家の立場としては大抵政治上の慾望を抛つて終ふのが常であるタフトがヒユースを大審院判事に任命したのは政敵として之を祭込んで其政事的野心を抛たせようと企てたのに外ならぬ處がヒユース氏は現在の地位に甘んじて居らず今回レパブリカン黨の候補者として立つ事になつた米國政界にも多數の小黨はあるが現在相對抗して居る二大政黨はデモクラットとレパブリカンとである現在のデモクラット黨はウヰルソン大統領の下に一致の行動を取つて居る故に

□今回の選擧には□

勿論ウヰルソン氏を選擧する之れに對抗するレパブリカンは全黨一致協力して當らなければならぬが今日迄の處に依ればレパブリカンはヒユース氏の外に一方ルーズベルト氏が進歩黨を率ゐて候補に立つて居る、進歩黨は共和黨の一分派であるから二人の候補を有して黨力を二分したと云ふとは既に

□共和黨の弱味□

である、兎に角米國現政府は比較的良政を布いて別段國民の反對を受ける如き失政が無い上に殊にウヰルソン氏は公平無私の人で專ら主義に據つて働き割合に黨派色が鮮明でなく反對黨の人ともよく胸襟を披いて相談すると云ふ風であるから國民の輿望を繋いで居る猶デモクラット黨では他に候補者としてウヰルソン氏に對抗するものがなく且つ從來

□米國の慣例は□

在職中差したる誤りなき場合には現大統領を再選すると云ふ事に爲つて居る之れウ氏が民主黨一致の後援ある上に現職に在ると云ふ非常なる強みであるから現狀を以て豫想する時はウヰルソン氏の再選は蓋し疑ふべからざる大勢であらう、萬一ヒユース氏が當選するとせば果して其の政綱たる軍備擴張及び強硬なる外交政策を遂行し得べきかと云ふに之れ亦た

□現政府と相違□

あるべしとも思はれない米國近來の政界の最大問題は軍備の擴張にありウ氏亦世界の形勢と國民の輿論とを了解し前例になき軍備の擴張を斷行した即ち陸軍に在りては從來中央常備軍及び各州守備軍を合して二十萬の兵力なりしを一躍して六十餘萬に增加し海軍に在つては

□五億四千萬圓□

の經費を以て戰艦、潜航艇、飛行機に至るまで凡て異常の大擴張を行つた斯くの如き軍備の大擴張は近き今後に於て何人が代つて大統領たるも之れ以上の擴張は不可能なるべく又ルート氏に據つて代表せられたるレパブリカン黨の強硬外交主義の一派が

□對獨政策の軟弱□

を猛烈に攻擊したるも米國の提案に對して獨逸が幾分讓歩したるを以て滿足したるを見れば今後共和黨が現政府に取つて代るとしても軍事外交共に差したる變動は見ざるべし

□日本は池中の蓮花の如し

詩聖タゴール翁の講演

日本が東洋に精神的生命を吹込む須く富岳の如く雄大なれ

來朝中の印度詩聖タゴール翁の大講演會は十一日午後四時より帝國大學講堂に於て開會朝野の貴顯學者を以て充たされたり翁は山川總長の紹介にて演壇に上り銀鈴の如く透徹せる音吐を以て東洋の爲め亞細亞の爲め

▽萬丈の氣焔 を吐きたり

翁曰く世人は亞細亞の生命は過去にありと、爾り曩昔亞細亞が大なる炬火を擧げて光明に耀き居りし時歐洲全部は暗黒に包まれ睡眠狀態にありし如く今日の亞細亞は夜間と異らず宛然死人の如き觀ありされど生には睡眠あり不動の時あり而して此の睡眠は

▽新なる生命 を作らんが爲めの休養なり斯くて眠れる亞細亞の中より先づ覺醒したるものは日本なり日本は恰かも彼の池中の蓮花が深き水底に根を張り居る如きものなり加ふるに日本は勇敢に近代の活社會に處し進展すべき力を有し居れりと信ずと云ひ翁は更に歐米の科學萬能主義を

▽極端に罵倒 し見よ西洋の文明は自ら其の問題の解決に苦しみつゝあり、個人と國家、勞働と資本、男子と女子、物質的利己主義と世界的人道主義、是等の關係の矛盾を如何に處理すべきやに付き途方に暮れ居れりと喝破し轉じて祖國印度を說き印度教は雜多の民族に自由を與へ

▽唯思想上に 於て渾一したる此の精神的統一は實に世界の人心問題に對する一大模範なり之に反し歐洲文明は常に排外主義なり歐洲人は人道の爲め善の爲めに苦戰惡鬪す然れども人道の表面に立つ時飽く迄善に強き其の力が一度自國の利福問題に接せば極端なる惡は強きものと爲すと論じ最後に日本は亞細亞全體に

▽希望を吹き 込みたり希望は新なる創造に無かるべからざる光明なり日本が現代文明の上に高く精神的生命を吹き込む時此の生命をして雜草中に埋れしめず彼の多年大空に聳ゆる富士の嶺の如く美しく強く礎固く雄大なるものたらしめざるべからずと結べり(東京特電)

●露艦離礁作業

我海軍より近々工作船を派遣

既報の如く我が海軍より露國へ讓渡せし軍艦元の相摸、即ち今の露國補助艦隊旗艦ペレスウエート號は五月下旬浦港に入らんとし港口附近に坐礁したるが其の離礁甚だ困難にして遂に露國海軍少將ヤンコフスキー氏は露都より急行し去る三日東京に來り軍需品の買入及び離礁作業者雇入に奔走し三井、山下等に交渉したるも到底其の手に餘る工事なればと拒絶され結局我が海軍に依賴し來りしかば海軍にては近日中適當なる工作船を派遣し離礁作業に從事せしむる事となれり因に我海軍の工作船關東丸は目下汽鑵の修理中なれば他に之に代るものを派遣するに至るべしと(東京)

●北陸線列車顛覆後報

客車角川に墜つ

既電の如く十一日正午富山を發したる二百一號列車は午後一時十六分魚津驛著の豫定なりしが魚津、滑川間に架しある角川鐵橋手前三十間の處に差し蒐るや突然大音響を發すると共に第四輛目の三等車より脫線し同客車一輛及び後尾貨車七輛河中に顛落せり列車の乘客は二三等合せて四十餘名ありしが顛落三等列車中にありし乘客は悉く河中に落ち死傷三十名を出したり尚二等客車には橋本第九師團長及び山本中佐乘込みたるが幸に危禍を免れたり(富山特電)

●小兒病の流行

一般に注意せよ

京城本町署管內にては前月中旬以來十四五歲迄位の小兒にして痲疹及び水痘に罹るものあり本月に入りて漸次增加の兆を呈し痲疹患者既に二十三名、水痘患者十名を數ふるに至れり尤も死亡する者は極めて稀なるも胎後症と稱し肺炎或は氣管支炎等を併發する恐れあれば此際一般に注意を要すべしと

▼御大典活動寫眞▲

□元山壽席にて(十一、十二、十三日)

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

□番外―實寫物―滑稽物―西洋奇術等

主催 京城日報元山支局 毎日申報元山支局

●帝都水に窮る

梅雨季に入り降雨無し

梅雨季に入りたるも降雨無く用水不足の結果東京市內は水道用水を節約する事に決せり近郊にては田植に困難を來しつゝあり(東京電話)

●賊學生の豪遊

京城府鍾路府洞李壽福(一九)同雲洞學生蔡泰植(一七)の兩名は共謀し去る一月十五日より五月中旬迄に前後二十八回に渉り竊取したる品物は衣類、雜品數十點に達し居れるが之を賣却して得たる代金を以て遊廓にて豪遊し居れる所を鍾路署の刑事が探知して引捕へたり

●慘殺して強奪

全北長水郡蟠岩面馬室里朴昌先(二一)は外二名と共謀し去る大正二年陰三月同郡長水面水平里安鍾基方に忍び入り白米一斗五升外數點を竊取し更に二箇所に於て同樣窃盜を働きたる外同年陰十月二十四日同郡山西面芳北里居住張箕錫(三五)が南原市場に赴き牛を賣却し金錢を所持し居るを聞知し之れを強奪せんことを企て同日南原郡王峙面廣石里南方約一丁の沙川に於て張を慘殺し所持の金品を強奪せしこと發覺し其の筋の手に捕へられ取調べの上強盜殺人罪として全州法院支廳の公判に附せらる

□金剛山が支那旅行

…ボーザー孃手引の事…

□二三日以前の事一人の外國婦人が鐵道局に來て金剛山の寫眞が貰ひ度いとの話、だんだん話を進めて行くと其婦人は上海なる廣文學會の秘書でミス、ヘルダ、ボーザーと云ふ人であつた

□ボーザー孃はコーレー夫妻と云ふ伴と一緒に有名な金剛山見物に來たが探勝するに及んで噂に勝る天下の絶景で低徊去るに忍びなかつたが豫定の日程もあるので思を殘して下山して來たが其思ひを傳へる料にもと寫眞が貰ひたいと云ふ意嚮であつた

□其れは誠に御奇特な事悅んで差上げもするが時に鐵道で作つた幻燈がある其れを御覽になつては如何との話は願つたり叶つたりそんな物があるなら早速是非共一覽致し度いと云ふ事になつた

□處が殘念な事には恰度其幻燈は平壤に行つて、二三日歸らない事が分つた然も婦人の方では日程も一日も遲延する譯に行かないと云ふので其樣な譯なら費用は出すから幻燈の種紙を造つて貰ひ度い、と云ふ事になつた

□學會では其事業として其幻燈を上海は勿論中部支那は言ふ迄もなく北京天津迄持つて行つて天下の絶勝を廣く支那に紹介したいと云ふ話、二つ返事で早速了承に及び双方共に大悅びで立別れたと云ふ

□斯くて天下の絶勝が支那大陸の旅行をやる事になつた次第で鐵道局では目下頻りに種板の選定中であると云ふ

●乘馬倶樂部講演

京城乘馬倶樂部にては十二日朝通常練習後第二回講演會を開き十九師團參謀長岡本大佐の乘馬に就てと題する講演ありしが來會者三十四名に達せり

◎香遠印譜の出版

東部篆刻界の耆宿として有名なる香遠金田厚氏は當年正に八十一歲の高齡に達したるが假所刻する處の印恰も八十一を取て上下二冊の譜となし龍鱗留影と稱して出版せるが鐵筆の自在實に稀に見る處のものなり

運―動―欄

▲總督府內野球部 總督府內には野球部が二組あつて第一部は屬、雇員を以て第二部は給仕を以て組織されてゐる共に盛々練習の結果仲々勢ひがあるが第二部の連中は嘗て鮮銀給仕組と對抗試合をやつて勝利を得たが十一日の日曜日にも訓練院でクリスト教青年會幼年部と對抗試合をし之をも打敗し南山の木葉天狗を驚かす程の氣焔だと云ふ

投書 ▲庭球では辛うじて勝ち占めた京城側も野球となると龍山に三三歩讓らねばならぬやうだ、野球部を有する鮮銀、遞信、京中の諸君!總督を繼けて京城青年會部と協力して龍山軍と雌雄を決する男氣なきや(ケイ生)▲京城弓場の設備の完全なものがないやうだ、是非その設備が一つ欲しい、贊成者は無いか(好弓生)▲運動界の歴史を明するため野球庭球と言はず各組の代表者が月に一度位つゝ會同する事にしては如何(京城西大門生)

□帝劇封切二大寫眞 帝劇上場連日滿員の盛況を呈したる伊太利ベラ會社が一ヶ年二ヶ月の日數と廿五萬圓の費用を投じ一萬五千の俳優を登場せしめたる大活動寫眞 東洋廿ヶ年權利附

□那翁百日天下 通俗教育會幹部連より優秀教訓劇と賞贊せられたる

□黄金の十字架 昨夏嘔無惝の說明に滿都の好評を博したる(正七時開館)

愈今晚限り 藤野睡虎出演 詩座

讀者文藝(一等には五十錢の代價券を呈す)

▲謎『初夏の清凉里とかけて』○山土產の苺と解く、心は青葉若葉に包まれる(一等) 京城光熙町 窪田未晚

▲美人の拗ね居と解く、嵩々(嵩々)として笑ひ 京城 多美子

▲同志會と解く、致友(清遊)に適す 京城 安鳳丹

▲明島の浦里さ解く、みどりがつゞく 龍山 金波樓

▲六月の吉野山と解く、新綠の風(古陵)に薫る 龍山 小山琴

はめる

狂歌『蚊』 〆切十一日 發表十四日

俗謠『釣』 同十二日 同十五日

川柳『商』 同十三日 同十六日

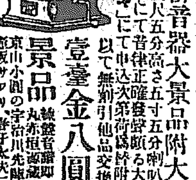
物は付『目障りになるものは』 同十四日 同十七日

一口噺『朝鮮に關して』 同十五日 同十八日

次回謎『生ビールとかけて』 同十六日 同十九日 同十七日 同二十日

■募集規程▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事但して一題二句以內の事▲此規程に違はめものは没書■

●大聲蓄音器大景品附大割引責任販賣●



本機は機箱の直徑壹尺五分高さ五寸五分喇叭口徑壹尺四寸の七吋盤二ツ構造キング式原動機にて音律正確發聲頗る大也今回五百臺限り左記大景品進呈す望の方は「ハガキ」にて申込次第荷造箱附にて送る萬一不向の節は實費を以て無料引他品交換又は返金す

壹臺金八圓五拾錢

景品 [illegible]

◎近頃玩具的蓄音機を誇大に廣告し注文者へ迷惑を與ふる不德商店有注意あれ

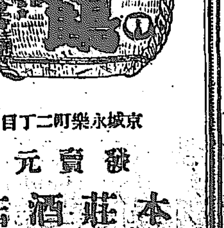
大阪市東區上本町五丁目 發賣元 大阪蓄音器商會 電話南一二三八 振替大阪二五〇八二

和洋製革 靴裁底附屬品 壹式 大販賣

東京市神田區田代町 和洋製革問屋 唐澤商店 電話下谷[illegible] 振替口座東京[illegible]

■相場表御申越次第送呈す

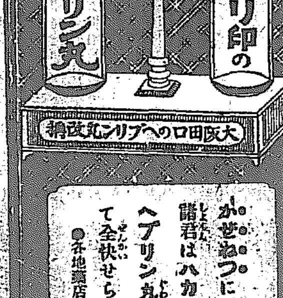
優等清酒



京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話[illegible]

明治公債株式會社朝鮮支部 ▲京城府東拓會社隣(電話一九〇八番) ▲外務社員募集(振替京城二三五〇番)

硝子板各種 (H) 大連市信濃町 松島商店 電話長六一六番 振替貯金大連三七番



かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘプリン丸を用ゐて全快せらるべし ●各地藥店にあり

直輸入 土木建築 金物商 諸官衙御用達 京城本町一丁目 佐野彥商店 千代田生命相互保險會社代理店 名古屋鉸筒株式會社代理店 日本石油特約販賣店 電話[illegible]

女鳩

渡邊默禪

(二三) 兄と妹

是だけの返辭が源作の口を衝いて出るまでには、煮ゐるやうな苦悶と、それと鎬を削るやうに鬪つた勇氣と、決斷との坩堝の中を、無理やりに濾して來たのである。聽く人はくだらない迷信だと嘲み笑ひもすれ、事實天狗といふ魔物が、現世に存在するものだと思ひ詰めてゐた彼にとつては、その觀念が一つの信仰になつて靈火の如くに彼の心に燃ゐてゐたのだ。それだのに其の信仰を壞つて、靈火を吹き消して、命を賭けても仕了せるとまで言出したことが非常の努力未曾有の冒險を敢てしようといふ一大決心の結果であらねばならぬ。この刹那の彼の心もちは、君主に叛いて革命軍に加擔すべく、連判狀に血書をした時の昔の志士と、すこしも異るところはなかつた。然り、彼は天狗樣に對して革命の旗擧をするのである。弓を挽くのである。

『此處でやだ(可厭だ)など言つたら旦那のおとッさんに申譯ないまなす。眞實にハア、彼の御恩ばかりは一生忘れらりやへんす』

動機は是であつた。彼はいつか官林盜伐の嫌疑で刑事被告になつた時、小村區署長であつた大野の父が、眞の犯人を搜し出して來て、彼を救つた。若し大野の父の同情がなかつたならば、彼は結局無罪となるまでも長い月日を未決監に送らなければならなかつた。

『鼻高樣の罰で不具になつたつてハア、あの御恩は消ねらんねまなす。いゝす、案内しやんすべ。たゞ今から頼んでおきやんすが、儻しも私の身に何か災難事があつたら、もつくさい(慨然)と思つて、家の妹娘を面倒みてくだはんしよ。いゝがす(宜しいか)旦那』

仕舞にこんなことを言出して打悄れた。大野は頷いて

『それなら心配するな。無事に纏が了つたら無論相當のお禮もするし、第一そんなとが有つた場合には、僕が責任を負つて、お前が困るやうなことはさせない。妹娘つて、お前そんなのが有つたけかね』

『有るす、ほれ、お前さま忘れさしたべッさ。お花よす』

『あゝ、爾う／＼。』云はれて思ひ出した。『僕が別れる時分は、まだ十一か二、そこいらの少女だつたが、もう幾年かね』

『十八になんせつさ。彼の時分にやお兄の源太郎が居たもんだで、其兄さ嫁とつて家を繼がせるつもりでなす。姉娘のお竹を此の村さ嫁れたところが、お前さま、兄の野郎が箸にも棒にもかゝらねやくざもんでなす、酒と賭博で方々さ山のやうな借金こせて(拵へて)よす、すいッと逃げたもんだます、ほれ。こたいなるなら(遁麼事になるなら)姉を嫁れるんでなかつたと後悔した譯よす。ほだから妹のお花さ聟とつてやるべと思つて、家さ置いてるが、これは又兄と違つて親孝行でなす』

『孝行をするのか。あゝそれは善いなア。』大野は感嘆して『ちやあ、兄の方は不品行そして逃げたのか、仕樣のない奴だなア、爺。』

『あんな野郎は子と思つてゐやへん』と、忌々しさうに涕を啜り上げた。

『そして今何處に居るんだ』

『何處をどうのそついて居るべだか、端書一枚よこさねから、生きたか死んだか分りやへんが、人の話ではハア、何でも横濱あたりさ行つて、船の人足とか馬丁とかになつてるとよす』

『なに、横濱で馬丁をしてゐる。へゝー』

大野が意外にうけとつた時、子爵と他の話をしてゐた生駒の耳に、その一語が異樣の刺戟を與へたと見えて、怪訝らしく二人を顧みた。

と、嫣然しながら話を聞いてゐた鳩子が、編物の手を停めて

『お花さんと被仰るの、ちよいと』

『はい』大野が答へた。

『十八ですつて？おや、私しと一つ違ひね』

『左樣うです、この爺を大事に扱つてるんださうで、爺は悦んでゐます』

『眞實に奥床しい方ねえ。私し早く逢つて見たいわ』

肌に輕く 着心地よき 夏物の めいせん ちゞ屋 京城本町二 電話八九〇番

皮膚科 入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町二丁目) 佐藤醫院 (電話一七三番)

○東京林露竹先生撰 九十合第四回撰句

ほろ醉の頬にほてりや弥の風 狐舟
石鹼玉ふく子愛らし弥の風 溪香
旅俤の心行く儘弥の風 豊堂
畑打の畦に楽笛鳴らしけり 坂草
垣越に鳴く鶯の高音哉 鳥石
鶯の初音を耳に皈かな 里の水
桃の里大河音なく流れけり 雪洲

秀逸

船に釘しめる音や鳴雲雀 水月坊
畑打や隣の村の牛の擧 可樂
鶯や溪流の音遲々として 駄郎
霞や里はよき山よき流れ 水戸房

新刊紹介

▲白木屋商報(六月號) 定價不詳東京市日本橋區白木屋吳服店
▲日本國教大道叢書(三三六) 十錢東京市小石川區關口町日新坂上大道社
▲三越(六の五) 定價不詳東京市日本橋區三越吳服店
▲帝國青年(六月號) 十錢東京市麴町區内幸町共發行所
▲歷史講座(國史問題正面觀側面觀) 著者大森文學士が皆て歷史地理上に發表したるもの三編に訂正を加へたるものにて第一は史上より觀たる旅館の發達として神代王朝時代より鎌倉足利戰國德川時代に至る旅温泉旅行關場等に就き交通美術工藝の發達に伴はざる旅館の狀況を記し第二王朝時代に於ける兵制の沿革にて徴兵の起源沿革發達して太宰府鎭守府及各兵制に關し支那の兵制に倣ひたる我大寶制の我國情に適せるや否を論じ第三平家の滅亡と鎌倉の滅亡とは兵家的武家と武家式なる源氏と斷片的なる二十一節に分ちて各方面より批判せり(八十錢東京市小石川區表町一〇九日本學術普及會)
▲千古風流揚帝艷史 六朝文弱の世に窮つて暴君明主たると共に一面に於て英君明主たりし千古風流の天子隋の揚帝の艷史を譯述せるもの原書が非常に浮々と露りし淫褻なる個條亡國を離する羅曲等を删除したるも然し一世を掩ひ能く役丁二百萬を發して顯仁宮を作り人夫百萬を以て通濟渠を開き兩岸の堤上に楊柳を植へ或は數里の西苑と十六の湖を築き十二の別院四十九の離宮を造營し淸夜遊の曲を作つて宮女數千日夜馬上に架なるを發したるの艷麗雅を飾る文詞の妙に至りては其の絢致餘情棄に捨て難きものあり(九十五錢東京市日本橋區北新町一つ大阪屋)
▲大日本帝國全圖(富山房編纂) 日本、朝鮮、樺太、臺灣、琉球等日章旗の翻る處荷も帝國の領地は何れも網羅し印刷鮮明なり(東京神田富山房發行一円五十錢、特別製二十錢增、折本九十五錢)
▲新聞用達社報(五月號) 定價不詳東京市下谷區御徒町一の六九共社
▲フースヒー(一八) 五錢東京府下澁谷町二三共社
▲紙之世界(九二) 五錢東京市小石川區西原町二の一一共社
▲時代評論(三の六〇) 十錢神戸市下山手通七の三八二共社
▲英語の日本(六月號) 入學試驗問題詳解、理解と習慣、受驗者に對する注意、讀方翻譯取書取の講義其他(十二錢東京市神田區表神保町三越文館)
▲婦人週報(二の二三) 二萬圓の借財な女手一つに返した經驗、師より尼に、反齒の原因(四錢五厘東京市牛込區中之谷町二六一七)

讀者の領分

歷北安溪には日人氣質と云つて妙な顔する教成の出來ぬ常に憤慨して居る人が多い同地方發展の爲一日も速に改良を希望す(住民總代)▲吾々は小團體で京城附近を跡探見會を組織して居るが何分少數なので振はぬのは遺憾千萬である貴社の主催で大々的にやつてほしいが如何でせう(幹事總代)▲京城の朝鮮獵友會は此頃振はぬ事甚だしい會員中には大分不平家があつて別に獨立した會を組織しようなど云つて居る注意し給へ(スポーツマンの一人)▲朝鮮人の嚙み合せをやつたら面白からう僕の宅に居るのは非常に强く近來は附近の大關になつて居る(鍾洞生)▲郵便局の前の廣場と貴社の前の廣場を彼のまゝに置くのは惜しい何とか利用は出來ぬものかな(新渡鮮者)▲西洋人は夏季北漢山に避暑する者が多い日本人も去年頃からボツ／＼避暑に來るが何の用意もないので大に困るせめて手輕に一二泊でも出來る樣な處がほしい(西大門生)▲近頃又々挨箱を盜まれて困る何とか防禦の法はなからうか(武橋住人)

商況

大阪株式特電

[illegible]

下關期米特電

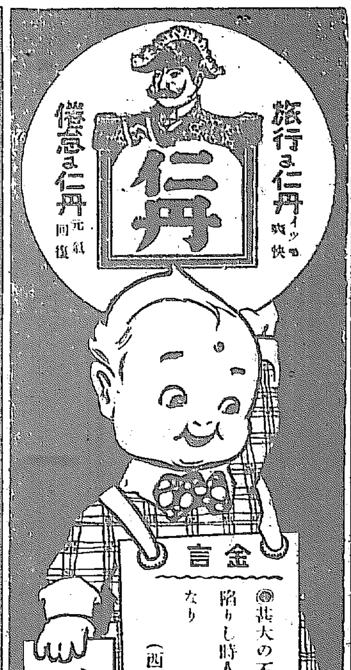
[illegible]

▲市場賣逃る

[illegible]

賜天覽御買上 猪印のみとり粉 金牌受領
定價 吹出散布器入 金二十錢 立鑵入 金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ

最上醬油 特許機械製 ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年紀念朝鮮物產共進會 金牌受領
釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七五一番 振替京城一七四番
京城出張所 電話二四五番 振替京城五二三番



◀書籍御案内▶

中島端藏著 蒙古通志	定價三圓 郵稅八
第八版 蘇峰文選	定價三圓五〇 郵稅二四
德富猪一郎先生著 大正政局史論	定價一圓二〇 郵稅一〇
天乃一生著 撞球指南	定價一圓五〇 郵稅一〇
桜山健堂著 乃木大將	定價一圓三〇 郵稅一〇
桜山健堂著 乃木大將	定價八五 郵稅一二
村田栄太郎著 高杉晋作	定價一圓二〇 郵稅一〇
醫學上より見たる 女の一代	定價一圓八〇 郵稅一二
吉本襄著第七版 元田先生進講錄	定價一八 郵稅二五

發賣所 京城日報代理部 電話六〇〇番 振替京城三〇〇

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切なるを旨とし御註文に應ず 京城日報社寫眞製版部

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 一二二 一〇七 一六二 振替貯金口座 京城二〇三

内科 小兒科 入院隨意
院長 中島貞
京城明治町(元善隣學校隣) 中島醫院 電話三七八番

汽船釜山出帆廣告
○立神丸 門司、神戶、大阪行 六月廿七日後五時出帆
○元山丸 清津、浦潮行 六月十五日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三菱平丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三菱平丸 六月十九日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山濱町立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 七月五日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川港町二丁目 電話十番 堀回漕部

金泉醴泉間自動車發着時間
金泉醴泉間 (時刻表)
▲小荷物取扱仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

滿蒙處分論 定價金一圓
陸軍大將クロパトキン將軍原著日露戰爭後の滿蒙問題
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路 共同丸 六月十四日後三時入六月十六日前九時出
朝鮮郵便御手數にて青島行定期船接續取扱可仕候 大連にて青島行汽船へ積換 荷客共直航船と同樣
○城津、清津、浦潮行(元山出帆) 阪鶴丸 月日後九時出
○西鮮沿岸各港を經て雄基行 第二共同丸 月日前八時出 (元山出帆)
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目電話一〇八番 山下回漕部
仁川代理店 田口回漕部
元山代理店 南大門 電話二六八 河村運送店
京城取次店

花柳病專門藥
京城永樂町二丁目 東京ドラッグ商會 滿鮮本部
●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る
●一週間分 普通金壹圓廿錢 特製金貳圓 普通金貳圓 特製金五圓五拾錢
梅毒 淋病 麻病
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理とに依り最も卓効ある梅毒淋病治療に用ゐる新藥を主劑として配合調劑し花柳病疾患に全く安全に服用以て最新の治療目的を遂し得る良藥なり
自宅療法 申込あれ無代寄送す

ルーデサック 十個四十錢 十二個六十錢
一個八十錢 一個一圓廿五錢
以上 割引外に要送料郵券代用一割増
京城黃金町三 山田文殊堂藥房

尼崎汽船仁川出帆
大正丸 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 六月十三日
有吉丸 六月十九日
代丸 六月廿四日
神秀丸
仁川港町 電話五十九番 高橋回漕部

大阪商船仁川出帆
○天安丸 群山、木浦、釜山、馬關、神戶、大阪行 六月廿五日 後五時出
×安東丸 六月十八日
木浦丸
×大智丸 群山、木浦、釜山、馬關、神戶、大阪行 六月十六日 後三時出
×滿州丸 六月十三日 後三時出
×天智丸
×信濃川丸 鎭南浦、大連行 七月四日 後二時出
×信濃川丸 六月十六日
○鎭南浦丸 六月廿九日 後二時出
△大連直行 潮州丸 六月十二日
○福州丸 六月十七日 正午出帆
×潮州丸 群山、釜山、横濱行 六月十四日
○福州丸 六月廿三日 後二時出
○大智丸 木浦、釜山、神戶、大阪行 六月廿二日 後三時出
○宮島丸 群山、神戶、大阪行 六月二十日 後五時出
○平壤丸 清津、城津、西湖津、浦潮不寄港 六月十四日 後二時出
○安平丸 六月廿八日
○基隆丸 上海、基隆、打狗行(大連出帆) 六月十七日 後四時出
○城津丸 六月廿八日
御注意 ○印は一時間前迄に乘船せられたし ○印は船客取扱
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話七〇八番
切符發賣所 内國通運會社支店 電話二一一番

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 京畿丸 黃海丸 成鏡丸 六月廿一日 六月廿五日 釜山發
門司より釜山各港寄港航路
○穩城丸 昌平丸 鏡城丸 六月十三日 六月十六日 元山發
元山より各港經由雄基行
○忠清丸 平安丸 六月十九日 六月廿二日 元山發
甘津浦潮行 復航釜山より門司へ寄港
○永興丸 毎月廿八日 元山發 北久方面
○咸德丸 六月十三日 釜山發 甘浦九龍里浦項各港經由鬱陵島行
○江陵丸 濟陽丸 毎日 浦項發
○三浦丸 六月十二日 釜山發 長承浦、統營、三千浦、晋州各港
○海州丸 統營丸 巨濟丸 慶興丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發 各港經由麗水行
○公州丸 六月 日 木浦發 各港經由濟州島行
○公州丸 六月十五日 木浦發 南多島海州島
○慶興丸 六月十四日 木浦發 各港經由濟州島行
○宗信丸 六月 日 仁川發 海州其他各港
○江原丸 六月十六日 仁川發
○麗水丸 晋州丸 六月 日 六月十五日 仁川發 各港經由木浦行
○錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 江華、喬洞島、海州行
○平安丸 六月十九日 六月十二日 群山發 若松發 往航 大黑山、木浦 復航 門司、木浦
鐵道會社及在外國人京城南大門前 京城商客取次店 松原運送店

商況